

第 21 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2024 in 阿南 「繫」

空間デザイン部門 募集要項

【テーマ：タテ×ヨコ】

【課題概要】

私たちの社会は何度となく災害に襲われ、避難し、時には被災し、支えあい、街や制度を直し、やがてくる次の災害に備え、命を受け継いできました。みなさんが生まれてからの約 20 年間にも、日本では大きな地震や津波、原発事故、火山噴火、毎年の豪雨や洪水が起こり、世界に目を向ければ自然災害だけでなく各地で紛争も続いています。今後、みなさんの生きていく社会で何が起こるのか、そのすべてを想像することは困難ですが、それでもみなさんは「災間」を生き抜き、あなたの生き方が友人、家族、地域を変えていきます。

災害後に噴出する様々な課題は災害前からすでにあった課題がさらに加速して現れてきたものです。例えば災害後には人口減少や地域産業の衰退が進み、災害前の水準に戻るには多くの時間と投資が必要になります。また、平時でも復興事業を進める際にも縦割りの弊害や横つなぎの重要性などはよく指摘されることです。

さあ、まずは、あなたの暮らす地域の課題や予想される災害について知り、あなた自身が災害に対してどのように生きるのかを考えてみてください。そのためには何が必要で、どのような可能性に満ちているでしょうか。建築学、土木工学、都市計画学、農村計画学などの既存の空間デザイン手法にとらわれず、他の工学、芸術、文学、教育、文化財、医療、商業などの地域資源と「繫」りながら、あなたの生き方を支える新しい空間デザインの可能性を提案してください。

1. 設計条件

- ・用途、規模、敷地は自由とする。
- ・デザインの対象は建築物、土木構築物、都市農村空間等とし、幅広い分野の知見を含むものとする
- ・あなたの生き方を支える新しい空間デザインの可能性を提案すること

2. 競技方法

(1) 重視する審査項目

- ・地域の課題を当事者としてとらえているか。
- ・提案内容は一分野の学術・技術・芸術にとどまらない総合的な知恵を有しているか。
- ・あなたの生き方を支える空間デザインの可能性を切り開くものとなっているか。

(2) 予選

- ・当該部門への応募にあたり、防災や事前復興を STEAM 教育の観点から考えるオンライン講座を用意していますので学習をした上で作品を検討するようにしてください。

<https://sites.google.com/anant-nct.ac.jp/bosai-steam/>

(2024 年 5 月 1 日 (水) 頃公開予定)

- ・提案内容をプレゼンテーションポスター(A1 サイズ(縦向きまたは横向き)1 枚以内)にまとめ、期日までにデータで所定の方法で提出する。なお、印刷物の郵送は不要とする。
- ・応募されたプレゼンテーションポスターに対して審査員が審査を行う。10 点程度を選出し、本選出場者を決定する。
- ・審査結果は 2024 年 9 月 2 日 (月) 頃にホームページに掲載するとともに、予選通過チームの代表学生と指導教員に対しては、予選通過を e-mail によって連絡する際に審査員からのコメントを伝える。コメントをもとに本選へ向けて案をブラッシュアップすること。

(3) 本選

- ・本選にて用いる作品は、プレゼンテーションポスター(A1 サイズ(縦向きまたは横向き)2 枚以内、パネル化は自由)、模型(サイズ指定なし)、スライドショーデータ(スライドサイズの指定なし)とし、表現方法として動画や AR、身体表現等を含んでもよい。
- ・会場には、1 作品ごとに幅 1800mm×奥行 1800mm の展示台 1 台(木製、台の床面は FL+200mm、天井高さは 3000mm)の空間を提供し、その空間に作品の世界観を表現すること。また、55 型モニター(脚付き)1 台、幅 1000mm×高さ 900mm のポスター掲示板 1 台、400*400*400 の台 2 つを用意しており、必要に応じてそれらを使用して作品を展示すること。なお、作品は展示した際に審査や観覧をする上で安全性を保つものでなければならない。
- ・パソコンや照明器具、電子機器等を持ち込む場合には事前に事務局に相談をすること。なお、これらは、前日もしくは当日に直接持ち込むことができるが、郵送はすることができない。また、返送も本校からは行うことができないため注意すること。
- ・印刷したプレゼンテーションポスターと模型は 2024 年 10 月 31 日(木)必着で阿南工業高等専門学校宛に郵送をすることとする。
- ・プレゼンテーションポスターのデータは PDF 形式にて、スライドショーデータは PDF 形式と PPT 形式にて 2024 年 10 月 31 日(木)必着で所定のウェブフォームよりアップをすること。これら以外のプレゼンテーションに用いるデータは当日持ち込むことができる。
- ・前日夕方、当日午前中に作品の展示を行うことができる。具体的な日時は本選出場要綱等にて公開する。
- ・本選では、次に示す 3 段階のプレゼンテーションに基づいて審査委員による評価を行う。

プレゼンテーション①：「つなぐ」ワークショップ（1日目午前）

- ・応募者は数名のインターメディアイーターと同じテーブルに着き、プレゼンテーションポスター、模型およびスライドショーデータ（動画や AR 等を用いてもよい）を用いたプレゼンテーションを行い、インターメディアイーターからの質疑に応えると共に、それを参考にして作品のブラッシュアップを行う。ワークショップの時間は120分とする。インターメディアイーターは技術者、行政関係者、市民、中学生などの多様性のあるメンバーで構成をされる。
- ・ワークショップの最後には、応募者がワークショップの成果について、審査員に向けて発表を行う。

プレゼンテーション②：「つたえる」プレゼンテーション（1日目午後）

- ・応募者は審査員に対してプレゼンテーションポスター、模型およびスライドショーデータ（動画や AR 等を用いてもよい）を用いたプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの時間は8分間とする。その後、審査員から質疑の時間を12分間設ける。
- ・「つなぐ」ワークショップの成果をプレゼンテーションに活用することが望ましい。
- ・1日目夕方に「つながる」エキスカージョン（応募者と審査員との懇親会）を設けますので、ぜひご参加下さい。なお、このイベントは自由参加であり、参加の可否により審査に影響はありません。

プレゼンテーション③：「たかめあう」クリティーク（2日目午前）

- ・応募者は3班に分かれ、1班ごとに1名の審査員が入り、「つたえる」プレゼンテーションで発表をした互いの作品についてとらえた課題や当事者性、創作した空間デザインについて20分間、批評を行いあう。批評とその応答を通じて、当事者性や自らの生き方を支える空間デザインとなっているかに自ら気づいていくことを期待しています。20分経過後、審査員は別の班に移り、再び20分間の批評を行う。これを計3回繰り返します。
- ・批評の結果を受けて、審査員は公開にて作品を審査する。審査中に応募者に対して発言を求める場合もある。審査員は最優秀賞1点、優秀賞2点、審査員特別賞2点を決定する。企業賞については、最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞を除いた作品の中から各企業が選定をする。

3. 予選応募方法

(1) 登録・応募の手続き

① 登録・応募期間：2024年7月29日（月）12:00～8月19日（月）17:00

② 登録・応募方法

* Webによる手続きを利用するためには、Google アカウントが必要となる。

・登録・応募先

デザコン 2024in 阿南公式ホームページ>「空間デザイン部門」>「エントリー」から

<https://デザコン.com/>

・登録時に応募ポスターのデータを提出する（（2）参照）。

③ 受付確認：入力した代表者と指導教員のメールアドレスに受付確認メールを自動配信する。

* メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。

(2) 提出物

① 応募ポスターのデータ

・ポスターのサイズ：A1 サイズ（縦向きもしくは横向き）1枚

・ポスターの記載内容：設計趣旨，図面（建築物の場合は配置図，平面図，立面図，断面図等，土木構造物・都市農村空間等の場合は配置図兼平面図，縦横断図等），その他として透視図，模型写真，イラスト等を適宜選択し，表現すること。

・使用言語：設計趣旨等の主たる言語は日本語もしくは英語とすること。

* ポスターには，応募者の氏名・所属が判別できる情報を記入しないこと。

・データのファイル形式：PDF(.pdf)

・データサイズ：100MB 以下

・ファイル名：[高専名(・キャンパス名)_代表者学生氏名]

* 「高専」「キャンパス」の文字は除く。

例) 阿南_高専太郎.pdf または 香川_高松_高専花子.pdf

(3) 予選審査費

① 1 作品：2,000 円

② 振込期限：2024年8月19日(月)

③ 振込口座

銀行名：徳島大正銀行

店名：阿南支店

店番：002

預金種目：普通預金

口座番号：8584393

口座名義：アナンコウギョウコウトウセンモンガツコウガクセイガカリアズカリキン

振込者名：「部門名称（空白）高専名の略称（空白）担当者名」とする。

例) クウカン アナン コウセンタロウ

* 振り込まれた予選審査費は，いかなる場合においても返金には応じない。

4. 質疑応答

募集要項の内容(課題内容, 設計条件)に関する質疑応答は行わない。ただし, 日程および提出方法などの事務的な質疑については, 下記の期間・方法にて受け付ける。

- ① 受付期間 : 2024年4月22日(月)~5月7日(火)17:00
- ② 質問方法
 - * Web による手続きを利用するためには, Google アカウントが必要となる。
 - デザコン 2024in 阿南公式ホームページ>「空間デザイン部門」>「質疑受付」から
<https://デザコン.com/>
- ③ 回答公開 : 5月中旬~5月下旬に, デザコン 2024 in 阿南公式ホームページの「空間デザイン部門」の「質疑応答」にて, 回答の内容を公開する。

5. 本選への参加

- ① 開催日程 : 2024年11月2日(土)・3日(日)
- ② 予選通過の通知 : 9月2日(月)頃にデザコン 2024 in 阿南公式ホームページに公開するとともに, 予選通過チームの代表者と指導教員のメールアドレスに直接通知する。
- ③ 本選出場要項等 : 9月2日(月)頃にデザコン 2024 in 阿南公式ホームページに公開するとともに, 予選通過チームには予選通過の通知とともにお知らせする。
- ④ 本選参加費
 - ・1名 : 1,800円
 - ・振込期限 : 2024年10月22日(火)
 - ・振込口座 : 3.(3)③と同様
 - * 振り込まれた本選参加費は, いかなる場合においても返金には応じない。

6. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは, 1 から 4 名で構成する。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一人物が空間部門の複数チームに参加することは認めない。
- (5) 同一人物の予選へのエントリー制限について

デザコン 2024 in 阿南では, 空間デザイン部門・創造デザイン部門・AM デザイン部門の 3 部門のうち 1 部門にしか応募できない。ただしこの 3 部門で予選通過できなかった場合には, 構造デザイン部門への応募を可とする。

7. 審査員及び審査方法

審査は、予選、本選ともに次の審査員が行う。なお、本選は公開審査とする。

委員長：羽藤英二（東京大学大学院教授，博士（工学），技術士（建設部門））

副委員長：三澤文子（建築家，Ms 建築設計事務所代表，一級建築士，住宅医）

委員：堀井秀知（弁護士，防災士，浅田法律事務所）

8. 表彰

- (1) 最優秀賞(日本建築家協会賞(予定)) 1 点
- (2) 優秀賞 2 点
- (3) 審査員特別賞 2 点
- (4) 企業賞数点

9. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに応募学生名、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。なお、予選に提出された応募作品についても公開を予定している。

なお、作品に掲載する図表、文章などはオリジナルのものを使用すること。特に地図等を二次利用する場合には著作権法上留意をして用いること。

10. 付記

- (1) 応募作品には他のコンテスト、コンペティションに応募したものを使用してはならない。
- (2) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (5) プレゼンテーション資料の作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を用いること。

空間デザイン部門 予選エントリー一覧

高専名（キャンパス名）	氏名（○ 代表者）
釧路高専	○松江 裕哉, 上田 康太郎, 金子 大晟
釧路高専	○森 美結, 大島 宗高
釧路高専	○水口 敬太
釧路高専	○佐藤 澄果, 狩野 由奈, 竹田 早希
釧路高専	○飯田 圭人, 志谷 富海也
仙台高専・名取キャンパス	○田邊 優和, 武蔵 翔, 小林 桃子
仙台高専・名取キャンパス	○吉田 勝斗, 本田 佳奈絵, 佐々木 心音, 草野 伶旺
仙台高専・名取キャンパス	○高野 莉緒, 畠山 綺, 志賀 光, 大河原 煌生
仙台高専・名取キャンパス	○河西 絵里奈, 佐々木 環, 丹野 和奏, 國府田 かつ子
仙台高専・名取キャンパス	○早坂 凜, 佐藤 想乃, 佐藤 瑞姫, 関 悠月
仙台高専・名取キャンパス	○早坂 真之介, 齊藤 純寛, 齋藤 匠, 俵谷 響
仙台高専・名取キャンパス	○桃井 亜里紗, 齋藤 花楠子, 成田 さわ
仙台高専・名取キャンパス	○加藤 颯, 白戸 杏南, 大越 綾乃, 遠藤 あやの
仙台高専・名取キャンパス	○長沼 杏, 根本 香梨, 佐藤 新夏
仙台高専・名取キャンパス	○齋藤 温, 織田 麟平, 福山 遥冬, 岩間 陸世
仙台高専・名取キャンパス	○佐藤 唯央, 菅原 沙弥翔, 小野寺 遥香, 鈴木 璃莉
仙台高専・名取キャンパス	○中村 向日葵, 吉岡 冬雪, 岩本 瑛
仙台高専・名取キャンパス	○長谷部 大夢, 猪狩 奈那, 鈴木 拓跳, 三浦 靖弘
仙台高専・名取キャンパス	○竹内 駿翔, 伊藤 弓史, 齋藤 陽希
仙台高専・名取キャンパス	○齋藤 由良, 高野 昊樹, 櫻井 青輝, 山口 衣音
秋田高専	○小林 瞳子, 佐々木 悠介, 伊藤 優希菜
鶴岡高専	○池田 夢叶, 遠藤 嘉人, 丹野 瑛太, 佐藤 圭悟
小山高専	○大平 稔矩, 安田 莉央, 吉葉 風子, 西山 陽翔
石川高専	○北川 真, 本馬 颯太, 清水 彩也乃, 諸橋 茉歩
石川高専	○鋤柄 満帆子, 安藤 望心, 高野 凜夏, 安井 幹造
石川高専	○森田 はるか, 東 稜子
石川高専	○室岡 姫奈, 本山 愛紗, 宇野 蒼唯
岐阜高専	○水口 聖菜, 中谷 文乃, 大石 爽真
岐阜高専	○土田 翔月
岐阜高専	○池田 光詠, 岡本 奏, 早川 純平
岐阜高専	○加藤 幸之助
岐阜高専	○佐藤 梅香
豊田高専	○小柴 雄大, 工藤 大翔, 塚田 博喜, 内藤 壮馬
豊田高専	○加藤 桃佳, 木田 琴奈, 藤岡 小温, 細田 明良
豊田高専	○横越 清高, 中村 かのん, 石井 香凜, 後藤 由奈
豊田高専	○角野 心音, 井戸 あかり, 杉山 さくら
豊田高専	○戸軽 大智, 神尾 瞭太郎, 古賀 舜大, 吉開 大貴
豊田高専	○鈴木 陽介, 谷 柊汰, 寺島 一翔
豊田高専	○金子 愛土, 神谷 陽輝, 田浦 瑠依, バン バンデット
豊田高専	○笠原 颯真, 井澤 琴萩, 廣田 菜都美, 宮本 ちかの
豊田高専	○佐野 琳香, 石田 琉愛, 島 瑞穂
豊田高専	○小松 峻太郎
舞鶴高専	○奥田 歩
舞鶴高専	○日下部 元喜
明石高専	○長野 晏大, 岸本 颯馬, 橋本 翠, 新井 万都里
明石高専	○田中 大登
明石高専	○鹿島 美羽, 丹野 裕己
明石高専	○増井 ゆふ美, 江口 茉央, 高木 まどか
明石高専	○早柏 拓途, 竹市 安里, 岸 環樹, 名子 純矢
明石高専	○古元 瑛翔, 今田 遼太郎, 植原 大翔, 阪田 暁音
明石高専	○横山 澄玲, 曾我 風太, 宇都 椋太, 的場 美咲
明石高専	○須原 千尋, 吉本 瑚春, 中前 稔, 川下 大輝
米子高専	○似内 暁彦
米子高専	○堀尾 真緒
米子高専	○渡邊 萌果
米子高専	○阿形 遼子, 野波 ふゆ, 松尾 夏実, 左近 愛菜

空間デザイン部門 予選エントリー一覧

高専名 (キャンパス名)	氏名 (○ 代表者)
米子高専	○谷野 彼方, 濱崎 大志, 三好 雪子, 藤江 桜良
米子高専	○植松 桜子, 黒田 礼奈, 田中 すずな
米子高専	○梅林 蒼, 瀬戸口 健人
米子高専	○松原 ひな子
米子高専	○浦林 丈人, 田中 悠羅
米子高専	○松本 結郁, 河崎 舞, 中島 奈々
米子高専	○赤路 素春, 浅田 溪達
呉高専	○林 青空, 積山 蒼人
呉高専	○岩部 想, 齋藤 和, 土屋 日陽香, 宮本 知輝
呉高専	○工藤 周悟, 栗栖 琴美, 竹本 快未
呉高専	○中野 愛子, 重高 雅道, 中川 皓晴, 中村 菜那
呉高専	○金谷 賢志朗
呉高専	○上木 優太郎, 福重 聖海, 宮本 倅之介
呉高専	○垣原 大輝, 妹尾 凌成, 柳井 秀斗, 山本 雄大
呉高専	○中浦 太智, 森谷 志麻, 白武 和, 石村 吏玖
呉高専	○橘高 雷士, 亀田 朋樹, 岩倉 輝
呉高専	○タン ブンリム, 藤野 弘大
呉高専	○阿地方 蓮, 釜山 菜太, 花房 拓磨, 森口 幹太
阿南高専	○四越 大嘉, 柿本 一成, 國原 優希, 松本 知大
阿南高専	○石山 航多, 小川 世晃, 竹内 遥人, 原 鳳介
阿南高専	○野村 芽以, 一色 美汐, 武澤 秋太郎, 前田 哲汰
阿南高専	○吉成 杏奈, 柿本 律葵, 吉田 好花
阿南高専	○高橋 颯太, 森 悠成, 野村 侑世, 井内 陽斗
阿南高専	○木村 響, 後藤 翼, 丸山 美莉, 新居 香麦
高知高専	○小松 野乃香
高知高専	○中澤 息吹, 辻 心美, 鎌倉 叶彩
高知高専	○山本 航士, 西山 里桜, 池田 美優, 佃 勇輝
高知高専	○切詰 紅羽, 小野川 隆生, 清水 聡太, 小松 温人
熊本高専・八代キャンパス	○野田 華凜, 林 小梅, 平田 菜々, テラウオンサトン タナポーン
熊本高専・八代キャンパス	○卯野木 海尋, 山下 大輝, 長尾 泰雅
熊本高専・八代キャンパス	○大西 沙世, 梅田 知華
熊本高専・八代キャンパス	○佐々木 陸翔, 桑原 愛翔, チャイ ソンキム
熊本高専・八代キャンパス	○三笠 華凜, 竹田 真麻, 中野 千尋, 野中 麗杏
熊本高専・八代キャンパス	○飯谷 彩乃
熊本高専・八代キャンパス	○寺本 芽生, 松崎 嵐, 尾上 翔稀, 松岡 侑聖
熊本高専・八代キャンパス	○村上 蓮
熊本高専・八代キャンパス	○田中 文裕, 光永 愛実, 江藤 直太郎, 徳本 豪海
熊本高専・八代キャンパス	○山田 ゆり, 佐生 恵美子, 亮吾, 村崎 紅彩
熊本高専・八代キャンパス	○西村 羽誕, 小森田 夏実, 鬼塚 晏利, 梅木 心
都城高専	○藤井 颯太, 長友 優太, 児玉 茉優, 田中 美羽
都城高専	○津曲 世成, 中西 凜斗, 立石 海人, 村脇 穂菜実
都城高専	○松下 倅大
都城高専	○吉丸 颯一
都城高専	○川野 莉奈
都城高専	○河野 百笑
鹿児島高専	○稲葉 陽大, 福永 大翔
鹿児島高専	○比良 香蓮, 村山 伶菜
サレジオ高専	○今任 唯, 菊地 玉笑, 鈴木 心寧, 菊池 里莉
サレジオ高専	○濱中 昂, 真鍋 歩希, 橋本 美乃, 林 譲葉
サレジオ高専	○村山 朔太郎, 西原 次郎, 相葉 悠海
大阪公立大学高専	○高城 優真
大阪公立大学高専	○森本 修誠
大阪公立大学高専	○兼山 智太
大阪公立大学高専	○森部 みさき
大阪公立大学高専	○森本 貫士
大阪公立大学高専	○平岡 佳大

デザコン2024 空間デザイン部門 予選通過作品 2024/9/2

エントリーNo.	作品名	高専・キャンパス名
33	ため池と生きるまち	仙台高専・名取キャンパス
34	両城解体	呉高専
51	コスモプレイス～津波避難タワー×市民交流施設×宇宙で導く新しい防災空間のカタチ	鹿児島高専
53	カキハシ	呉高専
57	うみ・ひと・まち・消防団 -未来へつなぐ防災意識-	仙台高専・名取キャンパス
70	鳥取移住訓練～鳥取に来てみんなさい～	米子高専
71	瀬戸際を生き抜く登り窯	豊田高専
80	水と住まう	豊田高専
94	港の日常～桜島と生きる～	鹿児島高専
99	そらに刻む人形浄瑠璃 -津波を待つ空き家-	明石高専
110	私の集落は柑橘色	熊本高専・八代キャンパス

以上 11作品

第21回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2024 in 阿南

「繫」

空間デザイン部門 本選出場要項

[テーマ：タテ×ヨコ]

1. 本選概要

本選では審査員からのブラッシュアップコメントを参照し、予選時の提案からより具体的に内容を深めた提案を成果物としてまとめると共に、各チームが本選会場において対面発表してもらいます。2日間で異なる3つのプレゼンテーションを行い、公開審査により、入賞作品を選出します。なお、インターネットによるライブ配信はありません。

2. 審査・作品展示会場

阿南工業高等専門学校 地域連携・テクノセンター 4階 マルチメディア室
(徳島県阿南市見能林町青木265)

Tel: 0884-23-7100

3. 提出物及び作品展示について

(1) プレゼンテーションポスター

- ・パネル化は自由とします。
- ・サイズはA1サイズとし、縦横は自由とします。
- ・枚数は2枚までとします
- ・印刷したプレゼンテーションポスターを2024年10月30日（水）～2024年10月31日（木）17時までに阿南高専必着で提出してください。外部の箱等のよく見える位置にエントリーNo. + 高専名（例：999阿南高専）と記載をしてください。
- ・郵送されたプレゼンテーションポスターは阿南高専内で保管をします。前日または当日の指定の時間に保管場所より会場まで移動をさせてください。

(2) プレゼンテーションポスターのPDFデータ

・2024年10月31日（木）17時までに所定のウェブフォームよりアップロードすること。URLは次の通りです。

<https://forms.gle/ZYXr92gwynhjWfCg7>

- ・PDFデータのファイル名は、エントリーNo. + 高専名（例：999阿南高専）としてください。2枚ある場合には、データファイルを分けずに、一つのPDFデータとして下さい。また、印刷をして審査資料として使用しますので、セキュリティはかけないでください。
- ・大会運営者側の過失によるものを除き、提出期限までにプレゼンテーションポスターを提出していない場合には棄権とみなします。

(3) 模型

- ・サイズ指定はありませんが、幅1800mm×奥行1800mmの展示台1台（MDF製、台の床面はFL+200mm、天井高さは3000mm）の作品展示ブース内に納まるものとしてください
- ・模型は、2024年10月30日（水）～2024年10月31日（木）17時までに阿南高専必着で提出してください。外部の箱等のよく見える位置にエントリーNo. +高専名（例：999阿南高専）と記載をしてください。
- ・郵送された模型は阿南高専内で保管をしますので、前日または当日の指定の時間に保管場所より会場まで移動をさせていただきます。

(4) スライドショーデータ

- ・スライドサイズの指定はありません。
- ・2024年10月31日（木）17時までに所定のウェブフォームよりアップロードすること。URLは（2）プレゼンテーションポスターのPDFデータのアップロードフォームと同じです。
- ・pptxデータのファイル名は、エントリーNo. +高専名（例：999阿南高専）としてください。また、セキュリティはかけないでください。

(5) その他の表現方法

- ・プレゼンテーションポスター、模型、スライドショーデータの他に、動画やAR等を使用しても構いません。また、身体表現等を含んでも構いません。

(6) 作品展示について

- ・上記の提出物について、下図に示すように1作品ごとに幅1800mm×奥行1800mmの展示台1台（MDF製、台の床面はFL+200mm、天井高さは3000mm）の作品展示ブースを提供しますので、その空間に作品の世界観を表現してください。また、55型モニター（脚付き）1台（付属物：HDMIケーブル（3m）×1本、OAタップ6個口（5m）×1本）、幅850mm×高さ1500mm程度以上の仕切りパネル（MDF製）2枚、幅400mm×奥行400mm×高400mmの台（MDF製）2台を用意しており、必要に応じてそれらを使用して作品を展示することができます。ただし、作品は展示した際に審査や観覧をする上で安全性を保つものとしてください。

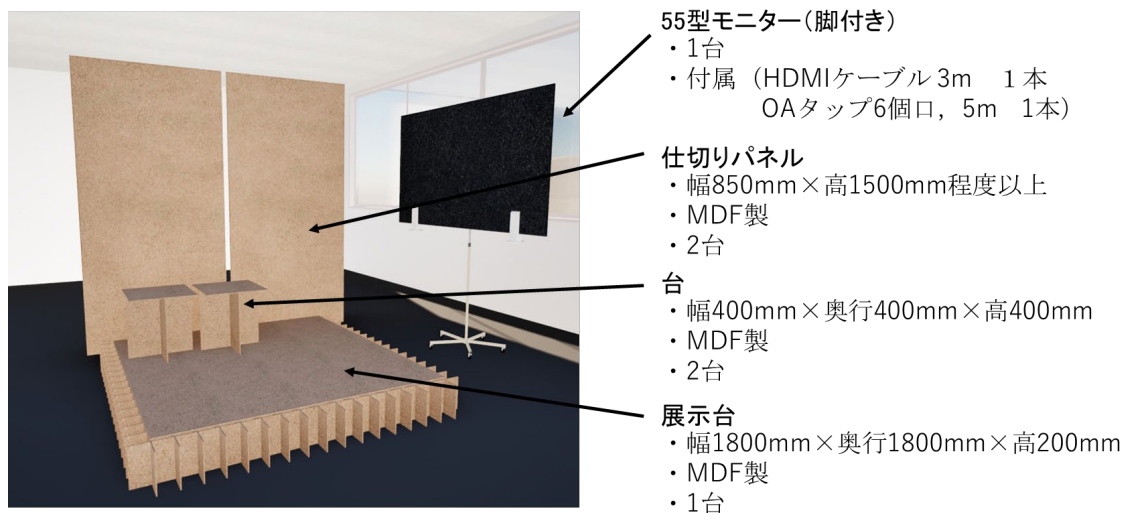


図 作品展示ブースのイメージ（軽微な変更がある可能性もある）

- ・作品の修正等のためのパソコンや模型道具等は各自で用意をしてください。
 - ・ワークショップでの議論に用いるため、製図板（A3）、ケント紙、ポストイット75*75（混色）、マジック8色等は会場側で用意をします。
 - ・プレゼンテーションポスターや模型の保管場所から作品展示会場までの移動、作品展示会場での展示準備は、2024年11月1日（金）13時～17時、11月2日（土）8時30分～9時30分までとします。11月2日（土）9時30分からはオリエンテーションを行い、10時よりプレゼンテーションを開始しますので、必ず9時30分までに準備を終えるようにしてください。
 - ・スライドショーデータを55型モニタに表示させる場合には、パソコンやタブレット端末の持ち込みをお願いします（事務局への事前の相談は不要です）。なお、パソコンやタブレット端末を貸与することはありませんのでBYODとしてください。ただし、本校側で各チームにHDMIケーブル（3m）×1本を会場に用意しています。電源については会場内の電源を使用可能です。
 - ・照明器具、パソコンやタブレット端末を除く電子機器（プロジェクター、3Dディスプレイ、VR/ARゴーグル）等を持ち込む場合には事前に事務局に相談をしてください。電気容量等が過大な場合にはポータブル発電機等の持ち込みをお願いする場合があります。
 - ・パソコンやタブレット端末、照明器具、電気機器等は前日もしくは当日の指定時間に直接持ち込むこととし、郵送は行わないで下さい。また、返送も本校からは行うことができないため注意すること。
 - ・パソコンや照明器具、電子機器等について、故障や盗難などについて本校側の過失によるものを除き責任をとれませんので、ご自身の責任で持ち込み、保管をお願いします。
- なお、11月1日（金）17時から11月2日（土）8時30分まで、11月2日（土）19時から11月3日（日）8時30分までは展示会場を施錠します。
- ・インターネット接続については、各自で対応をしてください。eduroamの使用は可能です。

（7）プレゼンテーションポスター・模型の送付先について

- ・プレゼンテーションポスターと模型は、下記の住所へ2024年10月30日（水）～2024年10月31日（木）17時まで必着で提出してください。

<宛先>

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木 2 6 5

阿南工業高等専門学校 デザコン 空間デザイン部門

<依頼主名の表記>

高専名・エントリーNo.・代表者氏名

- ・プレゼンテーションポスターと模型の梱包については輸送時に破損等のないように万全を期してください。また、学内での移動時において雨天の場合の備えもお願いします。
- ・プレゼンテーションポスターと模型の開封および設置や、審査後の梱包と返送作業等については、各高専の学生・教員で行ってください。なお、届いた荷物の取り扱いについては十分に注意して行いますが、作業で生じた破損等については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

(8) その他

- ・オフィシャルブック用に展示物の写真撮影を予定しています。11月2日（土）の午前中に写真撮影する予定です。
- ・応募者の荷物は自身で管理をするとともに、作品展示会場全体が空間作品であることを理解し、審査員による審査や一般鑑賞者の鑑賞を妨げないよう整理整頓を行うこと。
- ・作品展示会場での飲食は不可とする。ただし、熱中症対策のため、蓋のついた容器に入っている飲み物については許可をする。ごみなどは全て持ち帰ること。
- ・予選応募作品について会場内に設置しているiPadで閲覧が可能です。

4. スケジュール

10月31日（木）＜前々日＞

- | | |
|---------|---|
| 17:00まで | ・プレゼンテーションポスター，模型の郵送物の到着期限
・プレゼンテーションポスターのPDFデータ，スライドショーデータのアップロード期限 |
|---------|---|
-

11月1日（金）＜前日＞

- | | |
|-------------|--|
| 13:00～17:00 | ・受付
・プレゼンテーションポスター，模型の郵送物の保管場所から作品展示会場への移動
・作品展示準備 |
| 17:00 | ・展示会場施錠（11月2日（土）8時30分まで） |
-

11月2日（土）＜本選1日目＞

8:30	・展示会場開錠
8:30～9:30	・受付 ・プレゼンテーションポスター，模型の郵送物の保管場所から作品展示会場への移動 ・作品展示準備
9:30～9:55	・オリエンテーション ・審査員，インターミディエータの紹介 ・規定違反の有無を確認（違反を指摘された場合は，すみやかに指示に従ってください。指示に従えない場合は失格とします） ・展示ブースの撮影（オフィシャルブック用）
10:00～12:00（予定）	・プレゼンテーション①：「つなぐ」ワークショップ
12:00～12:30（予定）	・集合写真撮影 ・変更のあったプレゼンテーションポスターのPDFデータとスライドショーデータのアップロード
13:00～17:00（予定）	・プレゼンテーション②：「つたえる」プレゼンテーション
17:30～18:30（予定）	・「つながる」エクスカーション
19:00	・展示会場施錠（11月3日（日）8時30分まで）
終日	・予選作品の紹介（会場内iPad）

11月3日（日）＜本選2日目＞

8:30	・展示会場開錠
8:30～8:55	・受付 ・オリエンテーション ・グループ分けの発表 ・必要に応じて作品の移動
9:00～10:15（予定）	・プレゼンテーション③：「たかめあう」クリティーク
10:30～12:00（予定）	・公開作品審査 ・講評
12:00～13:00	・作品搬出
14:00～	・展示会場撤去
終日	・予選作品の紹介（会場内iPad）

5. 審査方法について

●プレゼンテーション①：「つなぐ」ワークショップ（1日目午前）

- ・時間は120分とする。
- ・各チームは自身の作品展示ブースにおいて、各チームに配置された数名のインターメディアエーターに対しプレゼンテーションポスター、模型およびスライドショーデータ（動画やAR等を用いてもよい）、その他身体表現等を用いたプレゼンテーションを行い質疑に答え、それを参考にして共に作品のブラッシュアップを行う。
- ・「インターメディアエーター」とは技術者、行政関係者、市民、小中高校生などの多様性のあるメンバーで構成をされる各チームの作品を共に考えてくれる仲間のことである。
- ・プレゼンテーションにあたり、映像を投影するために55型モニターを使用する、ワークショップを行うために作品展示ブースを使用する、身体表現や模型設置のために展示台を使用するなど、表現方法は自由とする。ただし、作品は展示した際に審査や観覧をする上で安全性を保つものとしてください。
- ・「作品のブラッシュアップ」とは、プレゼンテーションポスター、模型およびスライドショーデータ（動画やAR等を用いてもよい）、その他身体表現等の更新を意味する。ただし、プレゼンテーションポスターの印刷機等の用意は会場にはない。
- ・ワークショップの最後には、各チームがワークショップの成果について、審査員に向けて発表を行う。発表時間は1チーム辺り1分とする。発表の順番は最初は挙手式とし、その後は発表者が次の発表者を指名する方式により行う。
- ・プレゼンテーション①：「つなぐ」ワークショップの終了後、30分程度の制限時間を設け、変更のあったプレゼンテーションポスターのPDFデータとスライドショーデータのアップロードを行う。なお、変更がない場合には、その旨を事務局に伝えるようにしてください。URLは当日お知らせします。
- ・PDFデータ、pptxデータのファイル名は、エントリーNo. + 高専名 + 変更（例：999阿南高専変更）としてください。また、セキュリティはかけないでください。

●プレゼンテーション②：「つたえる」プレゼンテーション（1日目午後）

- ・各チームは審査員に対して、プレゼンテーション①：「つなぐ」ワークショップでブラッシュアップしたプレゼンテーションポスター、模型およびスライドショーデータ（動画やAR等を用いてもよい）を用いたプレゼンテーションを行う。
- ・プレゼンテーションの場所は、各チームの作品展示ブースの周辺とし、審査員が移動する形式でプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションにあたり、映像を投影するために55型モニターを使用する、ワークショップの結果を作品展示ブースに掲示する、身体表現や模型設置のために展示台を使用するなど、表現方法は自由とする。ただし、作品は展示した際に審査や観覧をする上で安全性を保つものとしてください。
- ・プレゼンテーションの時間は各チーム8分間とする。その後、審査員から質疑の時間を12分間設ける。
- ・発表の順番はプレゼンテーション①：「つなぐ」ワークショップの最終発表者を最初とし、その後は発表者が次の発表者を指名する方式により行う。

●「つながる」エクスカージョン（応募者と審査員との懇親会）（1日目夕方）

- ・時間は60分間とする。
- ・「つながる」エクスカージョンは、チーム同士や各チームと審査員との懇親会です。互いの作品を鑑賞し、意見交換を行う機会とします。
- ・場所は、作品展示会場において行います。
- ・簡単な軽食を事務局側で用意をします。展示されている作品を汚したり、傷つけたりしないように十分に注意をしてください。
- ・参加は自由とし、参加の可否により審査に影響はないものとします。

●プレゼンテーション③：「たかめあう」クリティーク（2日目午前）

- ・時間は60分間程度とする。
- ・各チームを3グループに分けて行う。グループ分けは審査員が作品の傾向等を考慮して行い、当日発表する。なお、作品を移動させる場合もあるため、その場合には協力をしてください。
- ・各グループに1名の審査員が入り、プレゼンテーション②：「つたえる」プレゼンテーションでとらえた課題や当事者性、創作した空間デザインについて20分間、批評を行いあう。批評とその応答を通じて、当事者性や自らの生き方を支える空間デザインとなっているかに自ら気づいていくことを期待しています。20分経過後、審査員は別のグループに移り、再び20分間の批評を行う。これを計3回繰り返します。各グループに参加する審査員は批評に参加をしながら審査を行う。
- ・各グループに事務局側から司会を設けることはありません。各グループ内で順次メンバーが自主的にファシリテーションを行うなど、積極性をもって取り組んで下さい。

●公開作品審査（2日目午前）

- ・以上のプレゼンテーション①②③の内容を総合的に鑑みて、審査員は公開にて作品を審査する。審査中に更にプレゼンテーションの実施や発言を求める場合もあるため、各チームは自身の作品展示ブースで待機してください
- ・審査員は最優秀賞1点、優秀賞2点、審査員特別賞2点を決定する。企業賞については、最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞以外の作品の中から各企業が選定をする。

6. 参加費

・本選参加費は参加者1名あたり1,800円とし、本選参加費は2024年10月22日(火)までに以下の口座に振り込んでください。

振込口座

銀行名：徳島大正銀行

店名：阿南支店

店番：002

預金種目：普通預金

口座番号：8584393

口座名義：アナンコウギョウコウトウセンモンガツコウガクセイガカリアズカリキン

振込者名：「部門名称（空白）高専名の略称（空白）担当者名」とする。

例) クウカン アナン コウセンタロウ

*振り込まれた本選参加費は、いかなる場合においても返金には応じない。

7. プレゼンテーションポスター・模型等の返送について

- ・会場からの配送については受付にてヤマト運輸の着払い伝票をお渡しします。
- ・荷物一つあたりの三辺合計が260cm以内かつ50kg以内となるよう梱包してください。

8. その他

- ・応募作品の著作権は基本的に製作者に帰属しますが、主催者の使用を妨げないものとします。
- ・オフィシャルブックには応募作品と共に指導教員の氏名が記載されます。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意をいただいたものとします。
- ・本要項に変更があった場合は、指導教員にメールで連絡または本選オリエンテーション時に説明します。
- ・事情により、各種変更が生じる場合があります。ご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、空間デザイン部門の本選開催に関して、質問等がありましたら、事務局（阿南高専学生課）にご連絡ください。直接、空間デザイン部門の教職員へ連絡することは、スムーズな大会準備を妨げるものになりますのでお控えください。

デザコン 2024 in 阿南 受賞一覧

空間デザイン部門	No.	高専名	作品名
最優秀賞（日本建築家協会会長賞）	71	豊田高専	瀬戸際を生き抜く登り窯
優秀賞	34	呉高専	両城解体
優秀賞	80	豊田高専	水と住まう
審査員特別賞	57	仙台高専・名取キャンパス	うみ・ひと・まち・消防団 -未来へつなぐ防災意識-
審査員特別賞	94	鹿児島高専	港の日常～桜島と生きる～
建築資料研究社／日建学院賞	70	米子高専	鳥取移住訓練～鳥取に来てみんなさい～
三菱地所コミュニティ賞	110	熊本高専・八代キャンパス	私の集落は柑橘色
ベクターワークスジャパン賞	99	明石高専	そらに刻む人形浄瑠璃 -津波を待つ空き家-

第 21 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2024 in 阿南「繫」

構造デザイン部門 募集要項

【テーマ：つなげる架け橋】

【課題概要】 阿南大会では、2019 年東京大会から続いている紙を素材とした橋のデザインを競います。本大会では、載荷直前に 2 つ以上の部材を“つなぎ”1 つの橋にします。そして、本大会の課題は、2023 年舞鶴大会と同様です。舞鶴大会での取り組みを活かし、阿南大会でも固定荷重および衝撃荷重に耐える橋とします。素材の特徴をよく捉えてこれらの条件を満足させる「耐荷性」、「軽量性」、「デザイン性」に優れた橋を製作してください。

1. 競技内容

所与の支点間隔で支持される橋梁（作品）を製作し、耐荷性、軽量性、デザイン性、創造性等を競う。

(1) 審査方法

- ① 競技得点 競技得点は、以下の通りとする。詳細は、「(3) 競技方法」を参照のこと。

$$\begin{aligned} \text{競技得点} &= (\text{静的載荷得点 } 40 \text{ 点} + \text{衝撃載荷得点 } 30 \text{ 点} + \text{軽量点 } 20 \text{ 点}) \\ &\quad \times \text{設置時間係数}(1.0, \text{遅延 } 0.9) \\ &\quad \times \text{部材数係数(部材数 } 2: 1.0, 3: 1.1, 4: 1.2) \\ &= 108 \text{ 点満点} \end{aligned}$$

- ② 審査員評価点 審査員評価点として、審査員は以下の項目で評価する。詳細は、「(3) 競技方法」を参照のこと。なお、本大会では作品への着色に関する評価は行わない。

$$\begin{aligned} \text{審査員評価点} &= \text{「作品の構造的合理性」}9 \text{ 点} + \text{「作品の独自性」}9 \text{ 点} \\ &\quad + \text{「プレゼンテーションポスターの出来栄」}9 \text{ 点} \\ &\quad + \text{「審査員からの質疑応答」}3 \text{ 点} \\ &= 30 \text{ 点満点} \end{aligned}$$

上記、①および②の合計点より得点順位を得る。なお、同点の場合は、軽量点が高い方を上位とする。

(2) 設計および製作条件（詳細は図 1 以降を参照）

① 構造形式

- ・ 水平支間長 900mm で、分割された 2 から 4 つの部材を指定する位置（以下「継手の重複可能部分」）にて乾式で、かつ、部材以外の部品等（例えば、くさびや込み栓等）を用いずに接合し、1 つの橋梁となる 2 点単純支持（両端ピン支持）形式の橋梁とする。また、部材の接合作業も競技の設置時間に含めるため、容易に接合できる構造とする。
- ・ 部材および部材を接合した 1 つの橋梁は、製作限界に収まる大きさにしなければならない。加えて、橋長は載荷治具等のセッティング荷重（「(3) 競技方法 ④セッティング荷重」参照）が作用した状態で 900mm 以上を確保すること。
- ・ 乾式による継手の重複可能部分は、図 1 に示す通り部材数（2、3、4）に応じて位置が異なる。そして、継手の重複可能部分は 150mm の範囲とする。また、分割された部材を接合して 1 つの橋梁としたときに一方の部材が継手の重複可能部分を超えて製作することはできない。
- ・ 部材は、接合時に変形（部材の一部および全体を折る、丸める、破く、縮める、伸ばす）しないものとする。

② 使用材料

使用可能な材料は、紙と木工用ボンドとする。紙は表 1 に示す商品に限る。同等品の使用は不可とする。木工用ボンドは、主成分が酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形で、表 2 に示す商品に限る。

表 1 使用可能なケント紙の例

	メーカー・品名・型番	秤量(g/m ²)	紙厚(mm)	サイズ
1	コクヨ・高級ケント紙・セ-KP18	157	0.19	A3
2	コクヨ・高級ケント紙・セ-KP28	210	0.22	A3
3	菅公工業・ケント紙・ベ 063	157	0.19	A3
4	muse・KMK ケント断裁品#200・8切	180		8切

表 2 使用可能な接着剤の種類

	メーカー	製品名
1	コニシ	木工用 CH18
2	セメダイン	木工用 605

③ 部材の加工・接着

部材の製作において、紙を任意形状に切ったり、折ったり、よじったり、丸めたりしてもよい。一度溶かすなど使用材料の原形をとどめないような使い方は不可とする。紙同士をボンドで接着してもよい。複数枚の紙をボンドで貼り合わせてもよい。ただし、単に紙自体の強度を増すなど、接着以外の目的で含浸処理を施さないこと。NC 工作機やレーザー加工機などによる自動切断・マーキングなどの加工も可能とする。

④ 印刷・着色

紙および製作物への着色およびプリントは行わない。

⑤ 支持条件

- ・ 橋梁を載せることができる支持部は、2 箇所まで水平支間長 900mm とする。
- ・ 支点の形状は、図 4、5、6 に示す通り等辺山形鋼（一辺 50mm）とし、2 点とも水平方向に移動不可能な支持条件とする。耐荷試験時に橋梁を載荷装置へ設置する際、橋梁が支点と接することができるのは、山形鋼頭頂部のみとする。また、載荷により橋梁が変形した場合には山形鋼の他の面に接触しても構わない。
- ・ 支点 Rb は、衝撃荷重を載荷するために上段と下段に分かれている。支点部上段には下段に設置されているガイドボルト（M10）を通す孔がΦ15mm であけられているため、競技中、水平支間長に多少の変化が生じる。そのことを前提に各条件を満足する橋梁とすること。

⑥ 載荷条件

橋梁への載荷は、静的荷重と衝撃荷重の 2 種類とする。

(a) 静的荷重

図 2 に示す橋梁上面の支間中央から左右それぞれ 25mm の位置である Sa 点および Sb 点に載荷治具を同じ高さの位置に置き、載荷治具の他端同士を Sc 点でΦ22 の丸鋼を通し、その両端にナットを取り付ける。

なお、載荷治具（Sa 点、Sb 点）は、橋梁の上面で位置あれば、製作限界内に入っても構わない。Sa 点および Sb 点の高さは、橋梁を水平に置いたとき同じ高さとなるようにする。そして、載荷装置に設置した際に支点の高低差分だけ Sb 点が Sa 点より高くなるようにする。その時、製作誤差による高さのずれについては許容するものとする。ただ

し、橋梁の変形によって、Sa および Sb にある载荷治具の丸鋼が左右にずれることがないように、左右へのズレ止め機構（例えば、丸鋼が収まるくぼみ等）を施すようにする。ズレ止め機構の条件については、図 12 に示すものとする。载荷点 Sa および Sb を繋ぐ载荷治具を構造材として利用することはできないこととする。

Sc 点を通す丸鋼の中央には、载荷ワイヤー（鎖、もしくは、鎖状のもの）が掛けられる吊りピースが付いている。この吊りピースと载荷ワイヤーを結合することにより荷重を载荷する。なお、载荷ワイヤーを吊りピースに結合する際は、おもり受けと防振マットの距離を約 50～100mm を確保することとする。

(b) 衝撃荷重

後述する所定の静的荷重を载荷した後、衝撃荷重の载荷を実施する。衝撃荷重は、支点 Rb の上段と下段の鋼板の間にあるナット（六角ナット 1 種 M36）4 個を取り除き、支点部上段の落下により加える。その時、ナットの高さ 29mm が衝撃荷重载荷時の落下高さとなる。

(3) 競技方法

① 仕様確認

仕様確認では、部材・橋梁の質量・橋長の計測のほか、以下の項目について検査を行う。

- ・ 部材数および部材が製作限界に収まっているか、確認用ケース内に部材が収まっていることで確認する。
- ・ 部材を 1 つの橋梁に接合し、橋梁が製作限界に収まっているか、確認用ケース内に橋梁が収まっていることで確認する。
- ・ 使用材料が規定と相違はないか。
- ・ 継手の重複可能部分の範囲が 150mm 以内かを確認する。

② 作品の質量計測

大会当日の計量にはエー・アンド・デイ製 EK-4100i（秤量 4kg、最小表示 0.1g）を使用する。

③ 審査員による審査

橋梁の設計趣旨、構造、デザイン性等について、橋梁およびプレゼンテーションポスターの評価により審査を行う。

- ・ 評価項目は、「作品の構造的合理性」、「作品の独自性」、「プレゼンテーションポスターの出来栄」、「審査員からの質疑応答」である。
- ・ 評価項目「作品の構造的合理性」、「作品の独自性」、「プレゼンテーションポスターの出来栄」については、事前に提出されたプレゼンテーションポスターおよび大会当日の展示橋梁の巡回により審査する。
- ・ 評価項目「審査員からの質疑応答」については、大会当日の展示橋梁の巡回の際に審査員が行う質疑に対する回答により評価する。したがって、審査員の巡回時には各チーム 1 名が橋梁の前で待機すること。なお、チームメンバーがプレゼンテーションを行う訳ではない点に注意すること。

④ セッティング荷重

载荷治具、スプリングフック、载荷ワイヤー、おもり受け等の総質量約 8kg がセッティング荷重として作用するが、このセッティング荷重は耐荷荷重には含めない。

⑤ 耐荷性能試験

耐荷性能試験の登壇者は、各チーム 3 名以内とする。登壇者は、ヘルメット、ゴーグル、軍手、安全靴を着用し、長袖、長ズボンの服装であることとする。なお、ヘルメット、ゴーグル、軍手については、主催者側で用意するが、安全靴は各高専で準備すること。以下、(a)～(e)に耐荷性能試験の詳細を示す。

(a) 载荷順

競技は、3 台もしくは 4 台の载荷装置を用い、3 組もしくは 4 組同時に载荷試験を実施する。载荷順については、原則として質量の重い順（軽量点の低い順）とする。同一高専で 2 橋を応募した場合（「3. 応募資格」に記載）、当該高専の 2 橋のうち質量の重い橋を 1 日目に载荷試験し、残りの橋を 2 日目に载荷する予定である。

(b) 载荷装置への設置

载荷装置への設置とは、以下の作業を完了することである。

- ・ 複数の部材を接合し 1 つの橋梁とする。
- ・ 載荷治具を橋梁へ設置する。
- ・ 橋梁を載荷台へ設置する。
- ・ 載荷治具の吊りピースと載荷ワイヤーとを結合し、おもり受けを防振マットから浮かせる。

すなわち、載荷装置への設置とは、セッティング荷重が橋梁に作用する状態にすることである。

載荷装置への設置は、「競技開始」の合図から 120 秒以内に行い、完了した時点で、手を挙げて競技審判に設置完了を知らせること。なお、合図があってから部材を 1 つにつなぐこととし、合図までは部材は分かれた状態にしておくこととする。合図から 120 秒を超過して設置が完了した場合は、載荷による得点に 0.9 を乗じた値が競技得点となる。設置完了後、競技審判が「支持条件」および「載荷条件」を満足しているかを 10 秒程度で確認する。

(c) 静的荷重の載荷

初期荷重は 10kg とし、40kg まで 10kg 刻みで静的荷重を載荷する。各載荷段階において、載荷後 10 秒間の耐荷状態の確認を競技審判が行った後、次の載荷を行う。なお、耐荷状態とは、おもり受けが防振マットに接していない状態のことである。おもり受けが防振マットに接した場合、橋梁に破断が生じていなくても「崩壊」しているものとみなして競技を終了する。また、図 12 に示すようにズレ止め機構の載荷治具 Sa 点および Sb 点の丸鋼が載荷試験中に橋梁内に 11mm を超えて入った場合は「崩壊」とみなして競技を終了する。

(d) 衝撃荷重の載荷

静的荷重 40kg に対して耐荷したことを確認でき次第、衝撃荷重の載荷を行う。

支点 Rb の上段と下段の鋼板の間にあるナット 4 個にはそれぞれ紐が通されており、それを引張ることでナットを取り除き支点部上段を落下させる。この時、ナットに通された紐以外に触れることはできない。ナット 4 個が確実に除去された時点から 10 秒間の耐荷状態（「(c) 静的荷重の載荷」記載と同様の状態）が確認できれば衝撃荷重に対して耐荷したこととする。なお、ナットの除去においては、一度に除去する個数や順序は指定しない。加えて、ナット 4 個を除去した時にガイドボルトに支点部上段の鋼板に設けた孔がボルトに引掛かり、支点部上段が斜めになった場合でも、ナット 4 個が除去されていれば耐荷状態の確認を行う。

(e) 競技得点

競技得点は、以下の式で算出する。

$$\begin{aligned} \text{競技得点} &= (\text{静的載荷得点 } 40 \text{ 点} + \text{衝撃載荷得点 } 30 \text{ 点} + \text{軽量点 } 20 \text{ 点}) \\ &\quad \times \text{設置時間係数}(1.0, \text{遅延 } 0.9) \\ &\quad \times \text{部材数係数}(\text{部材数 } 2: 1.0, 3: 1.1, 4: 1.2) \\ &= 108 \text{ 点満点} \end{aligned}$$

ここで、

- ・ 静的載荷得点：耐荷荷重の kg 数を点数とする（満点 40 点）。
- ・ 衝撃載荷得点：30 点
- ・ 軽量点：満点 20 点とし、軽量順で 1 位のチームに 20 点を与える。2 位以降については、1 位のチームの質量をチームの質量で除して、それに 20 点を掛けた点数を与える。（例えば、1 位のチームの質量が A、2 位のチームの質量が B である場合、 $(A/B) \times 20$ で計算した値を 2 位のチームの点数とする。3 位以下も同様の計算を行って点数を決める。）なお、作品を載荷装置にセットし、かつ、吊りピースと載荷ワイヤーの結合までを行い、「(c) 静的荷重の載荷」に入る前に耐荷状態でなくなった場合は軽量点の対象としない。
- ・ 設置時間係数：(b) 載荷装置への設置において 120 秒以内に設置が完了した場合、1.0 とし、設置が完了しなかった場合、0.9 とする。ただし、300 秒以内に設置が完了しなかった場合は、設置時間係数を 0.0 とし、参考載荷とする。
- ・ 部材数係数：橋梁を分割した部材数が、2 の場合：1.0、3 の場合：1.1、4 の場合：1.2、とする。

(4) 衝撃載荷時の注意事項

- ① ナットに通される紐の長さは、紐が結ばれている六角の直線部分から 1000mm±10mm とする。
- ② 「募集要項」p.13、図 5 に示されている位置にナットを置いた際、紐は支点部上段および下段の鋼板に挟まれていない状態である。
- ③ 橋梁の下に体の一部を入れた上でのナットの除去は非常に危険であり、禁止する（写真 1）。
- ④ ナットを除去する際、ナットの正面に立ち手前（胸の方向）に紐を引くと、飛んできたナットが体に当たる恐れがある。横や斜め後ろに引くなどしてナットとの接触が無いように気を付けること（写真 2）。

2. 応募方法等

Web による手続きとする。

(1) 募集要項に対する質疑

- ① 受付期間：2024年4月22日（月）～5月7日（月）17:00
- ② 質問方法：デザコン2024 in 阿南公式ホームページ（<https://デザコン.com/>）の構造デザイン部門の「質疑受付」から行う（Google アカウント必要）。
- ③ 回答公開：5月中旬～5月下旬に、デザコン2024 in 阿南公式ホームページの構造デザイン部門の「質疑応答」にて、回答の内容を公開する。あわせて、募集要項の更新も随時公式ホームページ上にて行う。

(2) エントリー手続き

- ① 受付期間：2024年9月17日（火）～9月30日（月）17:00
- ② 応募方法：デザコン2024 in 阿南公式ホームページの構造デザイン部門の「エントリー」から行う（Google アカウント必要）。
- ③ 項目記入上の注意：

記入する項目は、・学校名 ・作品名（仮称でも構わないが同一高専で異なる名称とする） ・チーム学生ならびに指導教員に関する情報 である。

エントリーフォームには、システムの都合上、「4. 作品概要 作品概要を400字以内で簡潔に表現して下さい。」とあるが、本エントリー手続きにおいては提出を求めない（プレゼンテーションポスターの事前提出時に合わせて提出してもらう予定）。しかし、フォームには何らかの文字を入力しなければならない仕様となっている。そこで、仮に所属する学校名を入力すること（「舞鶴高専」など）。

また、「43. ファイルのアップロード」についても、ここではファイルのアップロードを求めないので、ファイルのアップロードは不要である（作業風景の写真、チームの集合写真をプレゼンテーションポスターの事前提出時に合わせて提出してもらう予定）。
- ④ 受領確認：エントリーの受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。
- ⑤ エントリーリストの公開：

2024年10月8日（火）以降にデザコン2024 in 阿南公式ホームページ上にリストを公開する。エントリーしたチームはエントリーリストを必ず確認し、エントリー受付漏れがあった場合は2024年10月15日（火）17:00までに下記メールアドレスに連絡すること。2024年10月15日（火）17:00以降のエントリー訂正等は受け付けないので注意する。なお、エントリーの確認をもって、「全国高等専門学校デザインコンペティション2024 in 阿南 構造デザイン部門」への出場権を得たものとする。

阿南工業高等専門学校 構造デザイン部門事務局 e-mail ; dc-24koko@anan-nct.ac.jp
--

(3) 本選への参加

本選は 2024 年 11 月 2 日（土）および 3 日（日）に実施する。本選の詳細「本選出場要項等」に関しては、9 月中旬にデザコン 2024 in 阿南公式ホームページにて公開する。参加チームは、① プレゼンテーションポスター、② 作品を大会当日に持参すること。

① プレゼンテーションポスター：

- ・ A2 サイズ（横向き）で作成し、大会当日の受付後に指定箇所に掲示する。
- ・ プレゼンテーションポスターには、1. 学校名、2. 作品名、3. コンセプト、4. 模型の写真、5. アピールポイント、の 5 項目を必ず記載すること。

② 作品：

- ・ 作品は原則大会当日に持参することとするが、宅配を希望する場合は後日公開する手続き方法に従うこと（外形 3 辺合計 140cm 以内の箱に入れ発送することを求める予定である）。

(4) プレゼンテーションポスターデータの事前提出

① 提出期間：2024 年 10 月 21 日（月）～ 10 月 28 日（月）17：00

② 提出方法：プレゼンテーションポスターデータの提出方法等の詳細は、本選出場要項に記載する。

※事前提出されたプレゼンテーションポスターは審査員による審査の対象となる。

(5) 参加費

- ・ 参加費は、1 チーム当たり 8,000 円とする。
- ・ 参加費は、2024 年 10 月 8 日（火）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 振り込み者名は、「部門名称、空白、高専名の略称、空白、担当者名」とすること。

例) コウゾウ アナン 38 コウセンタロウ

- ・ 振り込まれた参加費ついて、いかなる場合においても返金には応じない。

【振込口座】

銀行名：徳島大正銀行
店名：阿南支店
店番：002
口座種別：普通預金
口座番号：8584393
口座名義：アナンコウギョウコウトウセンモンガツコウ ガクセイガカリアズカリキン

3. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは個人もしくは6名以内のグループで構成する。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一人物が他部門も含め複数のチームに参加することは認めない。
- (5) 応募作品は各チーム1つとして、かつ、同一高専で2つまで応募できる。ただし、同じ高専で形や、構造コンセプト（力の流れや負担の仕組み）が同じ作品は認めない。そのような作品が提出された場合は、どちらかひとつの作品を参考載荷とする、もしくは競技参加を認めないことがある。

4. 審査員

委員長：中澤祥二（豊橋技術科学大学 教授）

委員：岩崎英治（長岡技術科学大学 教授）

委員：奥田秀樹（国土交通省 四国地方整備局 企画部 部長）

5. 表彰

- (1) 最優秀賞（国土交通大臣賞（予定））1点
- (2) 優秀賞2点
- (3) 審査委員特別賞2点

6. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。

7. 付記

- (1) プレゼンテーションポスターの作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現にすること。
- (2) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (3) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。

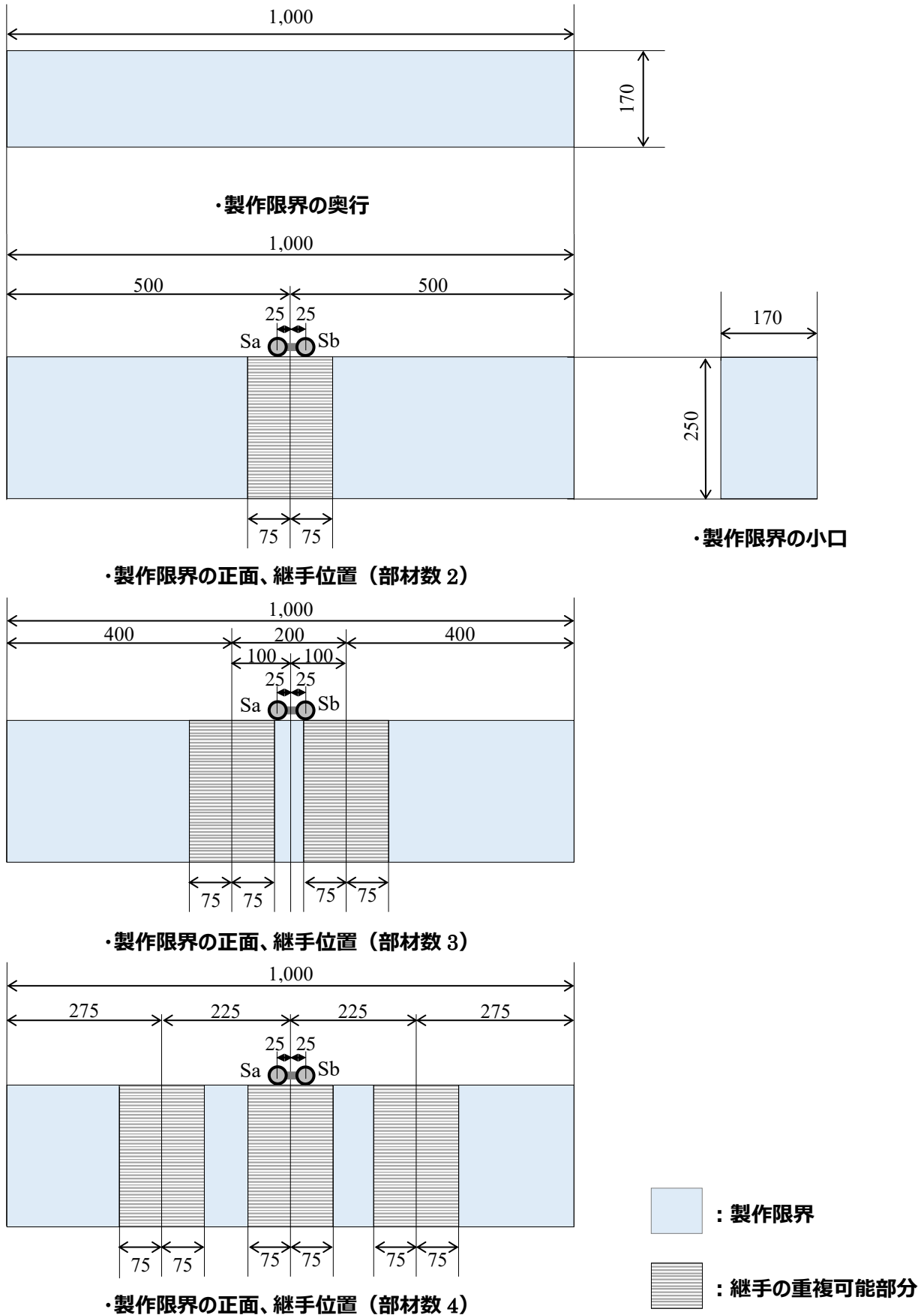


図 1 製作限界と各部材数で定める継手の重複可能部分 (単位 : mm)

※補足として各正面図には Sa 点、Sb 点の位置を描き加えている

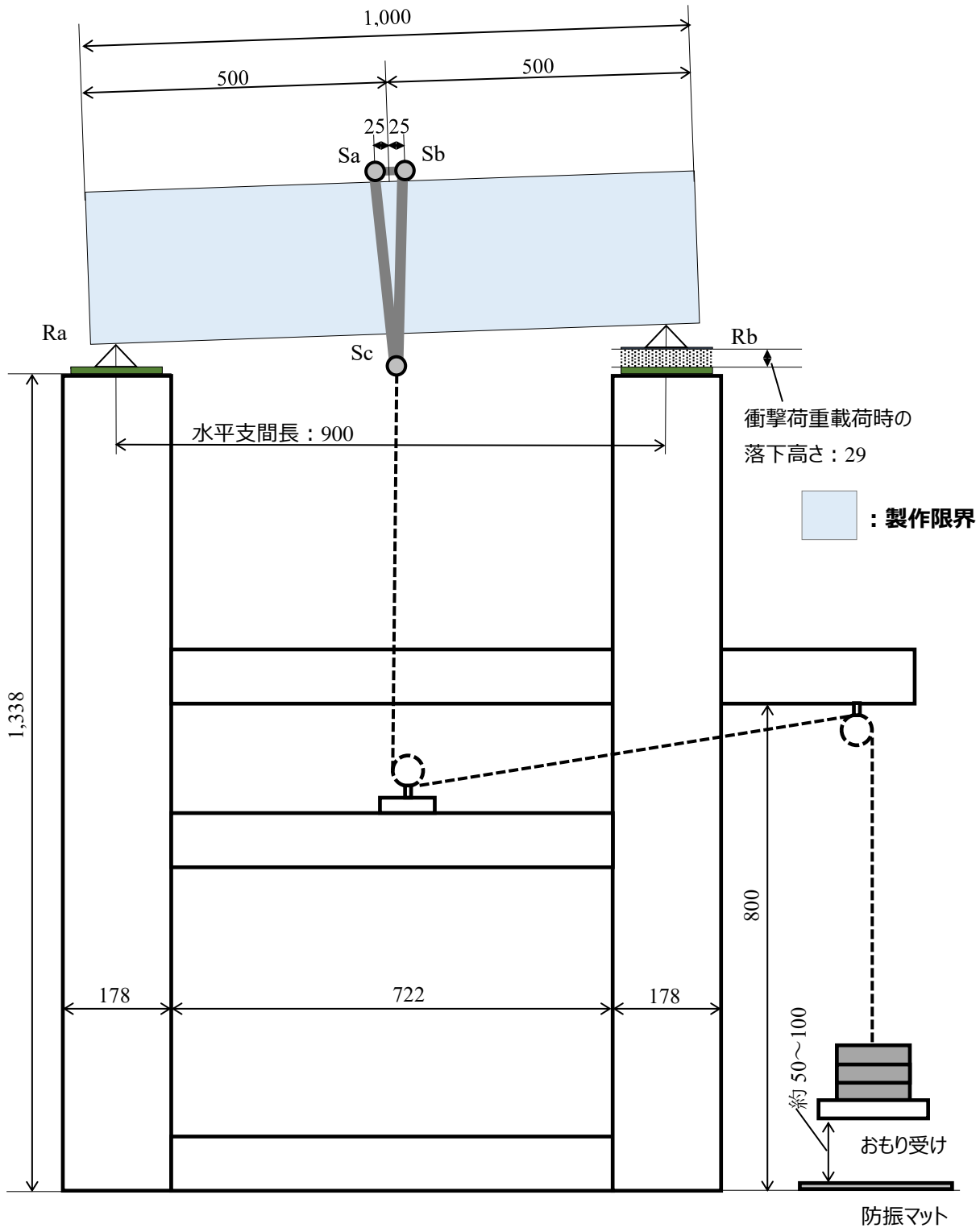


図 2 载荷装置と製作限界立面図（衝撃荷重載荷前、単位：mm）

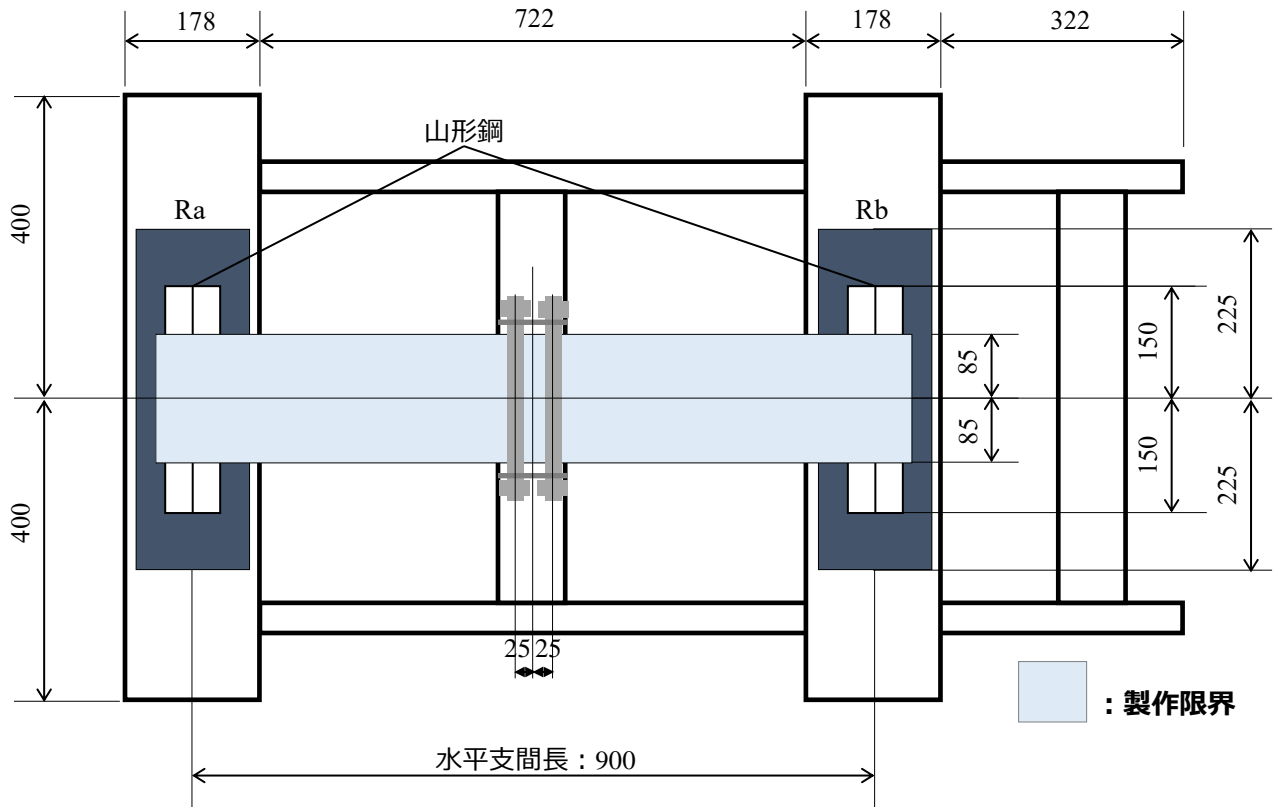
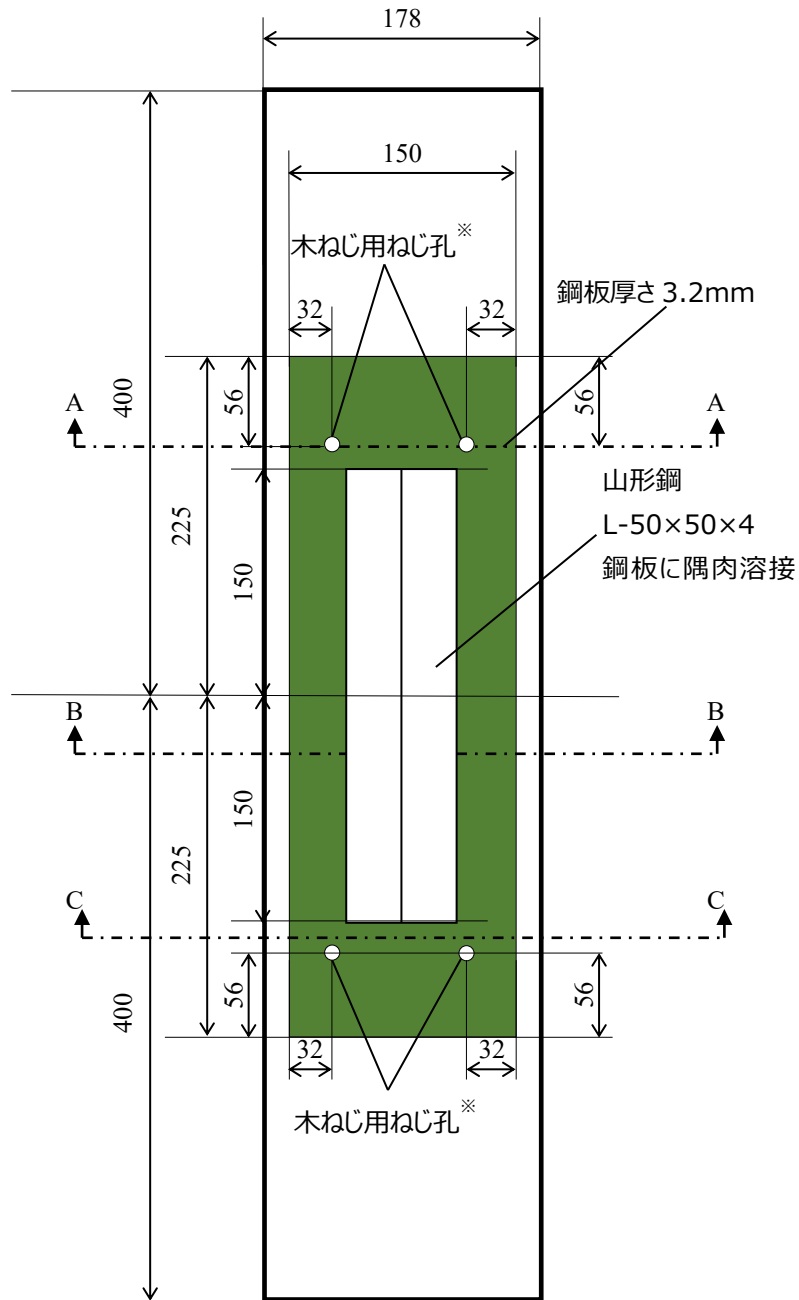


図3 载荷装置と製作限界平面図（衝撃荷重载荷前、単位：mm）



※各「木ねじ用孔」は、呼び M5、頭径 10mm のタッピング皿ねじが鋼板内に十分埋まるように孔あけ、ザグリ加工をしている（位置も含めて以降の他のねじ孔も同様）。

図 4 Ra 支点付近平面詳細図（単位：mm）

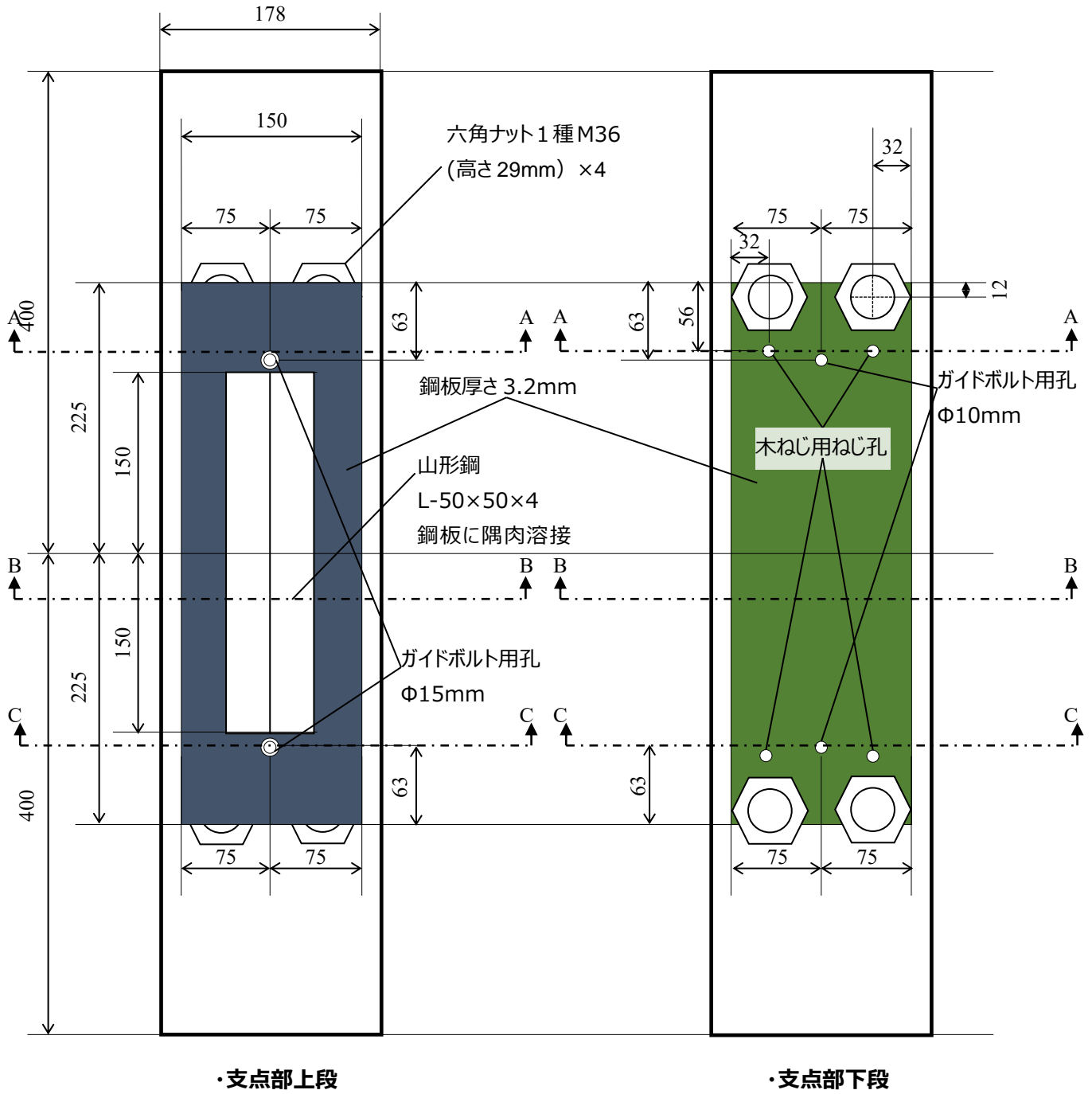


図5 Rb 支点付近平面詳細図 (単位: mm)

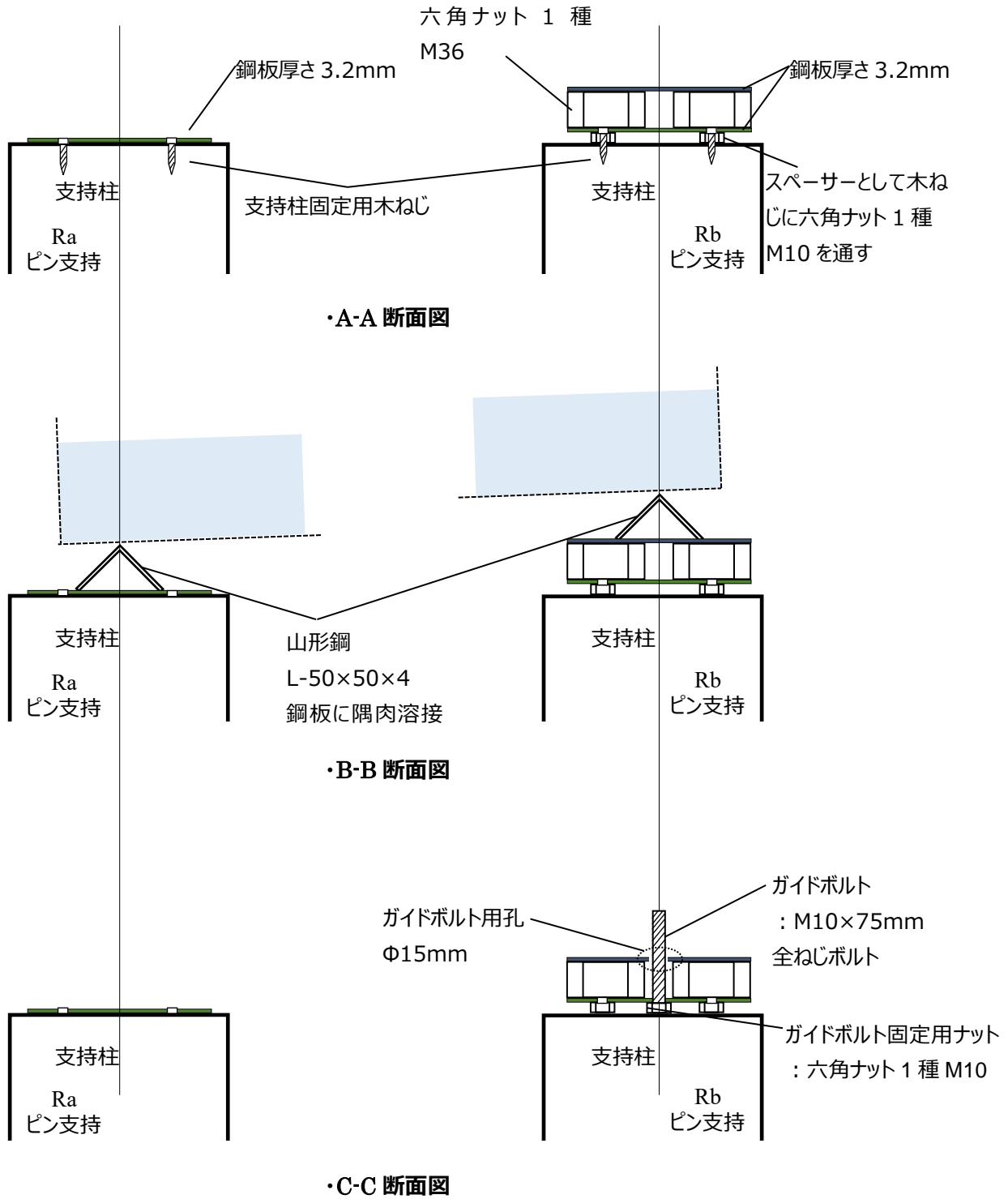


図 6 Ra、Rb 支点付近断面詳細図 (単位 : mm)

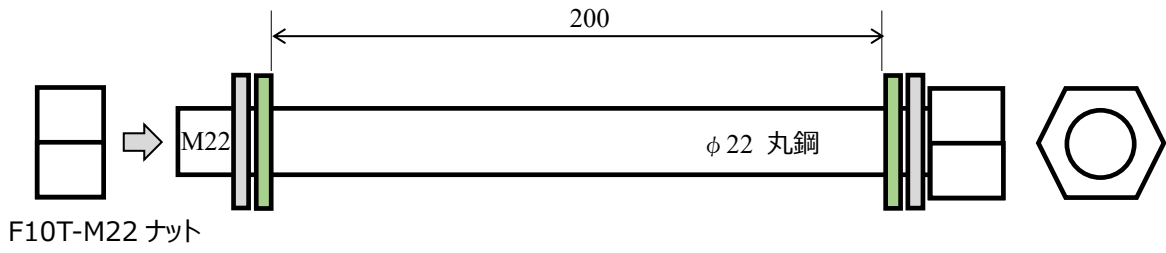


図 7 Sa、Sb ピン支承丸鋼

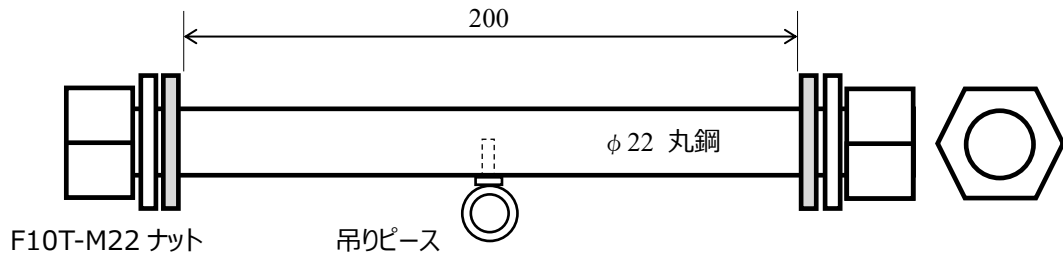


図 8 Sc ピン支承丸鋼

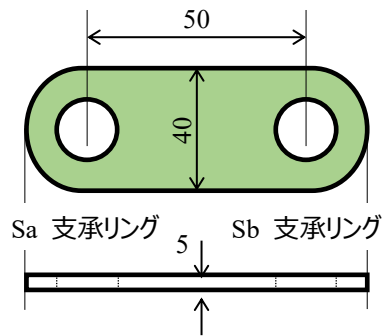


図 9 Sa - Sb 载荷治具

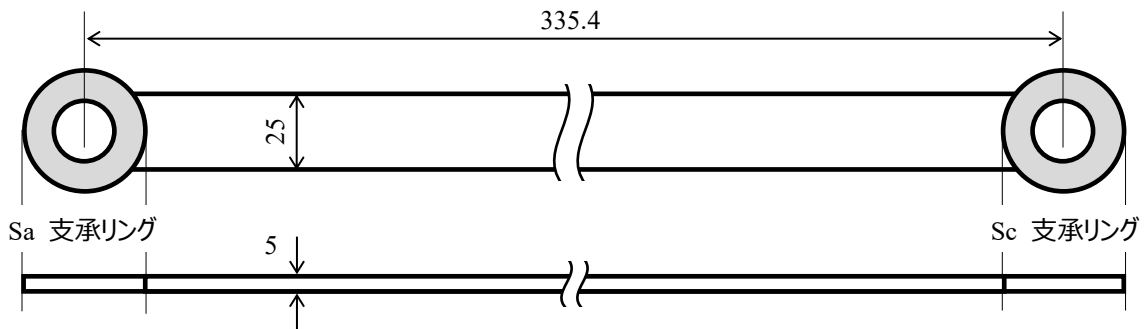


図 10 Sa - Sc 载荷治具

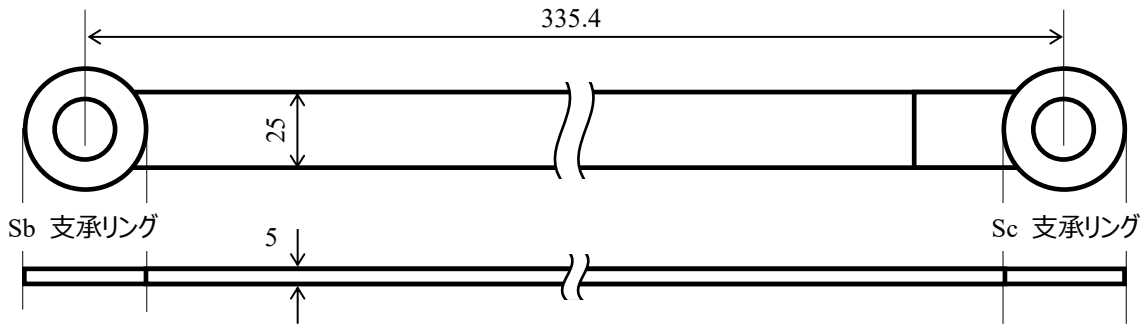


図 11 Sb - Sc 载荷治具

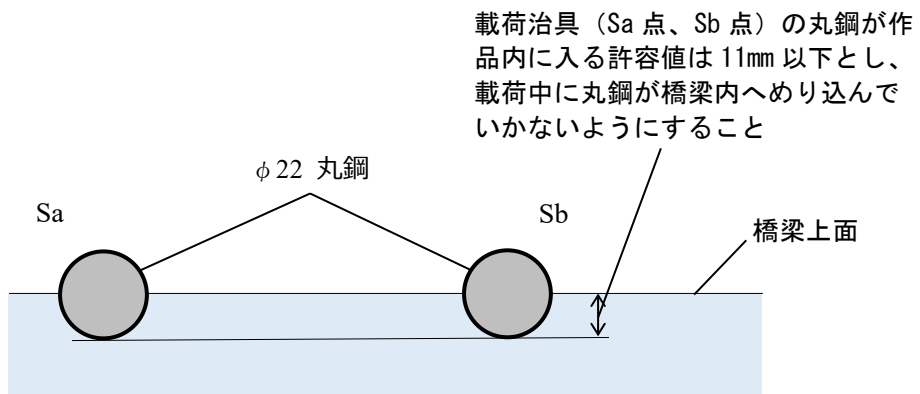


図 12 载荷治具のズレ止め機構の条件



写真1 橋梁の下に体を入れてのナット除去（禁止）

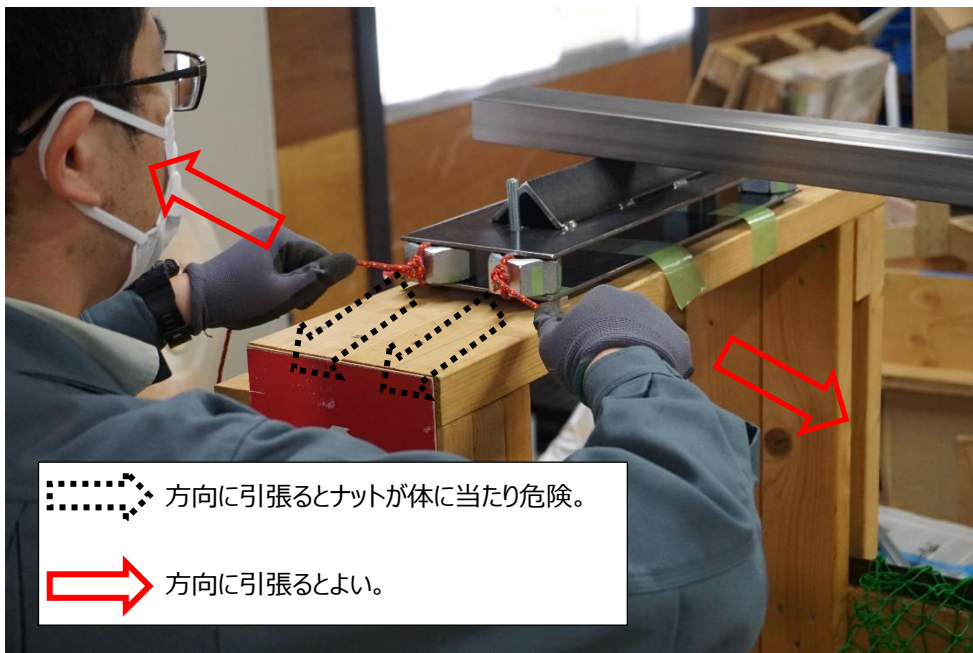


写真2 紐の引張り方

構造デザイン部門

No	質問校	質問	回答
1	明石高専	部材を4つにして、橋を作成しようと考えています。ですが水平支間長は940～960程度で考えています。募集要項には水平支間長1000mmで作成した場合の接合部分の寸法が記載されているのですが、それよりも短い水平支間長で作成した場合の寸法の縮尺等についての記載がなく、縮尺で合わせるのか、橋の中心からの寸法に合わせるようにするのか、どうあわせれば良いのでしょうか。それとも募集要項はあくまで例であって、接合部をどこで作るのかは私達で決めてもよろしいのでしょうか。	接合部については、橋の中心からの寸法に合わせて製作してください。
2	呉高専	載荷装置設置の際に踏み台を持ち込み使用してもよいか	踏み台の持込は可能です。
3	呉高専	昨年と同じ構造機構のものを提出することは可か	可能です。
4	呉高専	載荷装置に載荷するまでの間、第三者が時間を載荷する人に伝えることは可か、またストップウォッチの持ち込みは可か。	載荷装置に載荷するまでの間に第三者が時間を載荷する人に伝えることは禁止です。ただし、登壇している選手同士で声掛けをするのは、この限りではありません。また、原則として競技場への資機材の持ち込みは禁止とします。
5	呉高専	昨年、丸鋼のずれ機構がない高専や込み栓だと思われる機構を使っている高専が存在したが他高専の不備を発見した際の対応や点数への影響はどうか	要項に沿った構造となっているか否かの確認は、寸法確認等の際に運営側で実施し、参考載荷にする等の対応を実施します。
6	呉高専	審査員への質疑応答ではどの程度であればアピールを行ってもよいか	審査員への質疑応答時間内であれば、工夫した点等をアピールしていただいても大丈夫です。
7	呉高専	プレゼンボードの詳しい評価基準を知りたい	審査員評価点については、募集要項1.(1)②に記載のとおりです。審査員が、作品の構造的合理性、作品の独自性、プレゼンテーションポスターの出来栄えおよび審査員からの質疑応答内容を踏まえ、点数を採点することとなります。
8	呉高専	大会当日湿度が高かった場合など質疑応答以外は橋を箱の中にしめておくことは可か	湿度が高い場合、持参した箱の中にしめておくのは問題ありません。
9	舞鶴高専	要項p.15、図8 Sc ピン支承丸鋼で治具間隔が200(mm)とあるが、図9 Sa - Sb 載荷治具、図10 Sa - Sc 載荷治具および図11 Sb - Sc 載荷治具を作品本体側に近づけて載荷を行っても良いのか。	載荷治具は200mmを確保し、載荷するようにしてください。
10	和歌山高専	お世話になっております。構造部門の作品テーマが昨年度と同様ですが、昨年の作品を模倣した作品が出される可能性があると思います。そうなると、学生が試行錯誤しながら制作することがなくなってしまうように思いますが、どのような意図で昨年と同じ内容にされたのかをお聞かせください。	前回大会である舞鶴大会において、衝撃荷重を達成したチームが少なかったため、同様のテーマに再挑戦したいとの声もあり、それに応える形で同様のテーマ設定としています。

エントリー作品一覧【構造デザイン部門】 2024デザコンin阿南

作品番号	学校名	作品名・氏名・学年（○は代表学生）
15	苫小牧高専	苫小牧高専A（仮称） ○中嶋 一心（5年） 大沢 穂香（5年） 齊藤 翔太（5年） 田村 飛世莉（2年） 寅尾 美羽（5年） 山中 望々夏（1年）
16	苫小牧高専	チーム友達 ○有坂 優宏（5年） 佐藤 泰樹（4年） 真木 丈士朗（5年） 俣野 林太郎（5年） 上林 寛弥（4年） 近藤 暁（2年）
9	釧路高専	nusamai ○山崎 至恩（5年） 惣宇利 瑠珂（5年） 本橋 幸大（専攻科1年） 菅野 はな（3年） 植竹 文花（3年）
11	釧路高専	三鶴の訓 ○渡邊 紅音（5年） 佐藤 侃音（専攻科1年） 狩野 由奈（5年） 武田 紗奈（5年） 松江 裕哉（4年） 鈴木 美桜（3年）
2	八戸高専	橋、好きになりました。 ○天間 大斗（4年） 岩織 圭汰（4年） 田村 虎太郎（4年） 江渡 修司（4年） 沢口 東也（4年） 松枝 賢勢（4年）
38	秋田高専	市松網代橋 ○菅原 琉惺（3年） 今野 友翔（2年） 山田 陣（1年）
40	秋田高専	Quadruple ○小笠原 悠太郎（3年） 松淵 栞利（3年） 山正 史織（3年）
1	鶴岡高専	月山 ○小野寺 泰河（5年） 土井 紗稀寧（2年） 阿部 来翔（2年）
12	鶴岡高専	ラポール ○保科 来海（5年） 齋藤 源治郎（2年） 鈴木 佑弥（2年） 保科 光琉（1年）
17	福島高専	ブエンテ橋 ○大津留 優空（3年） 三瓶 蒼惟（3年） 會田 光基（3年） 松崎 太希（3年） 田中 妃万里（3年） 鈴木 大翔（3年）
49	小山高専	8時15分～8時20分のキセキ ○畑中 優志（4年） 齋藤 さくら（4年） 鈴木 愛佳（4年）
39	群馬高専	群馬01 ○小林 光希（5年） 小林 志門（5年） 平田 花菜子（2年） 山本 拓海（2年） 小野 恭弥（2年） 小川 桜子（2年）
41	群馬高専	群馬02 ○今井 和空（3年） 杉原 菜々（3年） 志村 美月（3年） 島崎 飛里（5年） 関根 恵信（1年） 今井 菊貴（1年）
19	石川高専	もうええで橋 ○山口 隼（4年） 松本 莉歩（4年） 石川 琥珀（4年） 古瀬 翔太郎（4年） 浜田 裕輝（4年） 小林 英幸（4年）
25	石川高専	覇有虎子 ○岡田 光（3年） 清造 竜之丞（3年） 松島 千夏（2年）
28	福井高専	弦 ○石田 誠一郎（3年） 野村 梨帆（2年） 齋藤 翔太（2年） 牧田 匠望（1年） 榎 翔生（1年） 小谷 朝日（5年）
29	福井高専	柔 ○玉村 真優（2年） 藤上 隼玖（2年） 三川 結聖（1年） 園 空河（1年） 保木 克也（5年） 畑 季佑（5年）
22	長野高専	剛弓 ○小島 歩之（5年） 笠井 健生（5年） 小林 歩夢（5年） 小関 すず（4年） 師田 結衣（4年） 安田 茉央（4年）
23	長野高専	月 ○SEREY ROTHANAK OR（5年） 大澤 佑羽（5年） 錦山 美鈴（5年） 林 花穂（5年） 森岡 ななみ（5年） YIAPAOHER FONGHER（4年）
47	岐阜高専	ハニカムスター（仮称） ○神宮司 琉羽（専攻科1年） 小椋 芽依（専攻科1年） 成瀬 匠高（専攻科1年） 増田 空我（専攻科2年）
50	岐阜高専	漢橋 ○岡田 歩大（専攻科1年） 江崎 香汰（専攻科1年） 増輪 拓大（専攻科1年） 向田 有杜（専攻科1年） 小塚 遥仁（専攻科1年） 入山 昇太郎（専攻科1年）
20	舞鶴高専	舞鶴1 ○川村 拓海（5年） 平中 太朗（4年） 平木 彪雅（4年） 石崎 裕生（3年） 藤田 朔夜（3年） 荻野 歩（3年）
21	舞鶴高専	舞鶴高専2 ○植西 佐（2年） 永井 泉希（1年） 井上 博之（4年） 陌間 聡志（2年） 芝井 咲月（1年） 間宮 帆香（1年）
3	明石高専	SSM橋 ○羽馬 義瑛（3年） 井田 千尋（3年） 小久保 翔也（3年） 隅谷 樂（3年） 松村 昌真（3年） 水島 羽琉（3年）
43	明石高専	氷 ○寺坂 拓磨（5年） 武田 隼（5年） 羽淵 陽向（5年） 松原 直己（5年） 村上 奨（5年） 渡邊 由恭（5年）
6	和歌山高専	しょうゆ ○勝丸 直樹（4年） 佐伯 育（4年） 浅利 大雅（4年） 橋詰 琉汰（4年） 楠原 里穂（4年） 村上 あやの（4年）
10	和歌山高専	うめ ○金塚 俐玖（4年） 田中 敦稀（4年） 中本 翔瑛（4年） 辻本 正晴（4年） 久原 礼（4年）


エントリー作品一覧【構造デザイン部門】 2024デザコンin阿南

作品番号	学校名	作品名・氏名・学年 (○は代表学生)
30	米子高専	渡鳥橋 ○横野 永人 (4年) 田巻 智理 (4年) 川上 修太郎 (4年) 岡田 紗和 (4年) 田立 早笑 (4年) 辻野 功人 (4年)
36	米子高専	要 ○遠藤 諒悟 (4年) 越田 奏羽 (4年) 齊鹿 夏希 (4年) 中村 歩夢 (3年) 片岡 芯太 (3年) 徳永 惇哉 (3年)
8	松江高専	MUGEN SARD BRIDGE nismo ○米原 瑞輝 (5年) 原 観月 (1年) 福田 七恵 (1年) 足達 純大 (1年) 落合 亜乙 (1年) 森山 舞桜 (1年)
24	松江高専	縁結橋 ○新崎 真央 (4年) 大西 成弥 (5年) 友國 健晟 (5年) 阿瀬川 獅友 (4年) 浅野 広太 (3年)
42	呉高専	チーム共橋 ○宇川 陽樹 (5年) 畝 倅太 (4年) 上林山 翼 (4年) 小桜 果 (4年) 桑原 帆乃未 (4年) 百相 里花 (2年)
45	呉高専	合いの架け橋 ○西口 幹人 (5年) 橋高 雷士 (5年) 小嶋 翔太 (5年) 大塚 惺矢 (5年) 大中 康輝 (5年) 藤原 福人 (5年)
44	徳山高専	魁兜 ○廣中 隼輝 (4年) 新田 結 (5年) 福寿 幹 (4年) 金子 まりも (3年) 有馬 虎珀 (2年) 大迫 鈴歌 (1年)
46	徳山高専	翠月 ○福島 鈴葉 (5年) 尾崎 未悠 (専攻科2年) 中越 凜子 (3年) 窪田 滯 (3年) 石津 雅 (2年) 藤井 敦大 (2年)
33	阿南高専	徳島ラーメン橋☆改 ○栗田 倅太郎 (3年) 村田 幸星 (3年) 仲田 大悟 (3年) 江上 千裕 (3年) 奈良 結依 (3年) ラニヤガ サリム (3年)
37	香川高専 (高松)	さぬきふじ ○岩田 侑真 (4年) 石原 陽斗 (2年) 高嶋 一獅 (2年) 吉村 総司郎 (1年)
48	有明高専	あっついアーチ (仮) ○岩屋 昂士朗 (専攻科2年) 泉 裕介 (専攻科2年) 溝田 嵩弥 (専攻科1年) 宇佐 仁徳 (4年) 上村 明美 (3年) 石瀧 希実 (3年)
7	都城高専	翠風 ○岩切 大昌 (専攻科1年) 中城 美祐 (5年) 別府 優心 (5年) 川崎 奨馬 (5年) 山下 夏輝 (5年)
18	鹿児島高専	薩摩富士 ○水流 瑞季 (4年) 鶴園 颯太 (4年) 福元 涼太 (4年) 荊原 久美子 (4年) 福永 泰誠 (4年) 平川 善介 (4年)
31	近畿大学高専	elegant arch ○古川 直 (5年) 山本 唯生 (5年) 春木 遼太 (5年)
32	近畿大学高専	big truss ○川上 弘泰 (5年) 牧村 賢祐 (5年) 三永 綾音 (4年) 長柄 花凜 (4年)
4	大阪公立大学高専	ワンオペ手作り橋 (仮称) ○一口 凌太郎 (5年) 山本 光 (4年)
5	大阪公立大学高専	Last Bridge ○千賀 慎也 (4年) 喜多 哲生 (4年) 北川 凌央 (4年) 瀧口 蓮 (4年) 塚本 香純 (4年) 山口 絢乃 (4年)
13	神戸市立高専	B. bridge ○津川 桂海羽 (4年) 稲石 帆乃果 (2年) 坂下 仁那 (2年) 牧崎 小柚 (1年)
14	神戸市立高専	高塚山 ○麻田 銀河 (3年) 伊達 祐葵 (3年) 下田 莉士 (3年) 橋本 紗羅 (3年) 池田 奏 (3年)
26	新モンゴル高専	心臓 ○ラハガワオチル アミンエレデネ (5年) プテドウヤンガ エンフアマガラン (5年) トゥメンバヤル テンギス (5年) イデルツォグト アマルジャルガル (5年) フレルスフ バヤラジャフラン (5年) ツォグオー トゥグルドゥル (5年)
27	新モンゴル高専	竜 ○バトモンフ ホンゴルゾル (4年) ジャラガルサイハン ビシレル (4年) モンフバト エグシグレン (4年) バヤラー バトゥルデ (4年) バザル ナランゴー (4年) プレントグトフ ソロンゴ (4年)
34	IETモンゴル高専	MOKO1 ○ゴトブ フレルーエレデネ (4年) トゥブシンサイカン マンライバヤル (4年) オロスー ナランバートル (4年) ダヴァドルジ バトーエレデネ (3年)
35	IETモンゴル高専	Moko2 ○サンダグドルジ ゾルバヤル (4年) スミヤクフー ホラン (3年) カリウナ アリウンセツテゲル (3年) プレブサンブー アマルトゥシン (4年)
51	モンゴル科技大高専	Sumber ○エンクトゥシグ ガンゾリグ (2年) シューデル ガンザム (2年) ゲゲーレル エルデネブルガン (2年) ブヤンジャルガル バヤンバット (2年) オチルブヤン アマルタイワン (2年) バヤルジャヴラン バヤルバート (2年)
52	モンゴル科技大高専	「青空の架け橋」 ○ビルグーデイ シジルバートル (5年) エルデネホルル シャグダルスレン (5年) テンギス バヤスガラン (2年) ナランソロング ナランツヤ (2年) エンフマンライ ムンフゾリグト (2年) チンゾリグ バトバヤル (2年)

以上、52件

デザコン2024 in 阿南 構造デザイン部門 結果一覧

得点 順位	作品 番号	高専名	作品名	質量 (g)	部材数	仕様 確認	審査員 評価点 (30点)	競技得点					合計得点 (138点)	受賞
								部材数 係数	設置時間 係数	軽量点 (20点)	荷重得点 (70点)	合計 (108点)		
1	36	米子高専	要	160.8	4	○	27.00	1.2	1.0	18.371	70	106.04	133.0	最優秀賞 (国土交通大臣賞)
2	30	米子高専	渡鳥橋	166.0	4	○	27.33	1.2	1.0	17.795	70	105.35	132.7	優秀賞 (日本建設業連合会会長賞)
3	44	徳山高専	魁兜	170.9	4	○	25.33	1.2	1.0	17.285	70	104.74	130.1	優秀賞
4	46	徳山高専	翠月	207.7	4	○	26.67	1.2	1.0	14.222	70	101.07	127.7	審査員特別賞
5	2	八戸高専	橋、好きになりました。	286.0	4	○	21.33	1.2	1.0	10.329	70	96.39	117.7	日刊建設工業新聞社賞
6	27	新モンゴル高専	竜	294.0	4	○	25.00	1.2	0.9	10.048	70	86.45	111.5	審査員特別賞
7	38	秋田高専	市松網代橋	749.1	4	○	19.67	1.2	1.0	3.943	70	88.73	108.4	東京水道社賞
8	24	松江高専	縁結橋	1334.4	4	○	20.00	1.2	0.9	2.214	70	77.99	98.0	
9	42	呉高専	チーム共橋	331.0	4	○	25.33	1.2	1.0	8.924	40	58.71	84.0	
10	3	明石高専	SSM橋	321.9	4	○	23.67	1.2	1.0	9.177	40	59.01	82.7	
11	16	苫小牧高専	優宏	181.5	4	○	26.33	1.2	1.0	16.275	30	55.53	81.9	
12	45	呉高専	合	273.3	4	○	27.00	1.2	1.0	10.809	30	48.97	76.0	
13	21	舞鶴高専	ッ。～継手の構造について～	200.4	4	○	26.67	1.2	0.9	14.741	30	48.32	75.0	
14	20	舞鶴高専	SECONDIMPACT	320.9	4	○	23.67	1.2	1.0	9.205	30	47.05	70.7	
15	26	新モンゴル高専	心臓	331.1	4	○	23.67	1.2	1.0	8.922	30	46.71	70.4	
16	19	石川高専	NITI-C	282.4	3	○	24.67	1.1	1.0	10.460	30	44.51	69.2	
17	40	秋田高専	Quadruple	768.8	4	○	21.00	1.2	0.9	3.842	40	47.35	68.3	
18	15	苫小牧高専	マルボーズ・マイスター	186.1	4	○	25.00	1.2	1.0	15.873	20	43.05	68.0	
19	51	モンゴル科技大高専	Sumber	306.2	4	○	22.00	1.2	0.9	9.647	30	42.82	64.8	
20	31	近畿大学高専	elegant arch	435.2	4	○	22.33	1.2	0.9	6.788	30	39.73	62.1	
21	28	福井高専	弦	520.6	3	○	24.00	1.1	0.9	5.674	30	35.32	59.3	
22	39	群馬高専	四安弧	147.7	4	○	26.33	1.2	0.9	20.000	10	32.40	58.7	
23	52	モンゴル科技大高専	「青空の架け橋」	338.2	4	○	24.00	1.2	0.9	8.734	20	31.03	55.0	
24	13	神戸市立高専	B. Bridge	1387.5	4	○	19.33	1.2	0.9	2.129	30	34.70	54.0	
25	9	釧路高専	nusamai	391.7	3	○	23.00	1.1	1.0	7.541	20	30.30	53.3	
26	18	鹿児島高専	薩摩富士	349.1	3	○	22.00	1.1	0.9	8.462	20	28.18	50.2	
27	4	大阪公立大学高専	にほんばし	243.4	4	○	26.00	1.2	0.9	12.136	10	23.91	49.9	
28	48	有明高専	橋を知れ！橋を！！	261.2	3	○	26.00	1.1	1.0	11.309	10	23.44	49.4	
29	25	石川高専	覇有虎子	733.7	2	○	21.33	1.0	1.0	4.026	20	24.03	45.4	
30	41	群馬高専	赤城	169.3	4	○	23.00	1.2	1.0	17.448	0	20.94	43.9	
31	11	釧路高専	三鶴の訓	364.2	3	○	23.33	1.1	1.0	8.111	10	19.92	43.3	
32	23	長野高専	月	473.4	4	○	22.00	1.2	1.0	6.240	10	19.49	41.5	
33	35	IETモンゴル高専	Truss bridge	337.4	3	○	21.33	1.1	0.9	8.755	10	18.57	39.9	
34	29	福井高専	柔	480.9	2	○	24.00	1.0	0.9	6.143	10	14.53	38.5	
35	17	福島高専	プエンテ橋	778.5	3	○	22.00	1.1	1.0	3.794	10	15.17	37.2	
36	32	近畿大学高専	big truss	647.5	4	○	21.33	1.2	0.9	4.562	10	15.73	37.1	
36	1	鶴岡高専	月山	735.0	4	○	22.00	1.2	0.9	4.019	10	15.14	37.1	
38	49	小山高専	8時15分～8時20分のキセキ	407.3	2	○	20.67	1.0	0.9	7.253	10	15.53	36.2	
39	22	長野高専	剛弓	331.7	4	○	23.00	1.2	1.0	8.906	0	10.69	33.7	
40	34	IETモンゴル高専	mou genkaiiii...	326.7	3	○	23.33	1.1	1.0	9.042	0	9.95	33.3	
41	7	都城高専	翠風	368.9	4	○	23.33	1.2	1.0	8.008	0	9.61	32.9	
42	12	鶴岡高専	ラポール	395.0	4	○	23.67	1.2	0.9	7.478	0	8.08	31.7	
43	6	和歌山高専	しょうゆ	1865.3	2	○	17.67	1.0	0.9	1.584	10	10.43	28.1	
44	33	阿南高専	徳島ラーメン橋☆改	672.4	3	○	18.67	1.1	1.0	4.393	0	4.83	23.5	
45	14	神戸市立高専	高塚山	641.9	3	○	18.00	1.1	0.9	4.602	0	4.56	22.6	
46	47	岐阜高専	ハニカムスター	1124.9	3	○	19.33	1.1	1.0	2.626	0	2.89	22.2	
47	43	明石高専	氷	528.6	4	○	22.00	1.2	0.0	5.588	0	0.00	22.0	
48	5	大阪公立大学高専	ハシ。ー構造の力学についてー	310.5	4	○	20.67	1.2	0.0	9.514	0	0.00	20.7	
49	37	香川高専 (高松)	さぬきふじ	468.6	3	○	19.33	1.1	0.0	6.304	0	0.00	19.3	
50	50	岐阜高専	漢橋	1948.7	3	○	16.33	1.1	0.9	1.516	0	1.50	17.8	
51	10	和歌山高専	うめ	604.0	2	○	17.33	1.0	0.0	4.891	0	0.00	17.3	
52	8	松江高専	MUGEN SARD BRIDGE nismo	1499.2	1	×	-	-	-	-	-	-	-	参考載荷

注)  は載荷の全過程を成功した作品を示す (8作品)。

第 21 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2024 in 阿南「繫」

創造デザイン部門 募集要項

[テーマ：未来につなげる 脱炭素な社会]

[課題概要]阿南大会では、2050年の未来と「繫」をテーマに、都市における脱炭素な社会づくりのアイデアを募集します。日本では豊かな暮らしの実現がしているが、気候変動など早急に対応しなければならない課題があります。このような課題を克服し、2050年においても豊かな暮らしが可能な社会づくりについて、低学年を含めた多くの学年および各学科・コースの特色を活かした多くの提案を期待しています。

*****審査委員長からのコメント*****
我々は集まって住むために都市をつくり、集まって住むことができるような社会基盤や社会システムをつくりあげてきました。しかしそれは見方を変えれば、人間が人間のために自然を開発してきた歴史とみることもできます。その結果、現在の我々が直面しているのは、地球環境を巻き込んだより大きな問題です。将来を見据えると、これまでのように人間の側からだけ見た効率性重視、生産性重視の都市のつくりかた、もののつくりかたは終わりを迎つつあるように思います。これからは人間だけではなく、この地球上で時空間をシェアしている全ての生き物のことを考えた社会づくりが必要不可欠となってくるのではないのでしょうか。

今回の課題では未来につなげるための脱炭素な社会づくりの提案を募集します。

これは今後の我々の社会が直面する（もしくはもう既に直面している）問題であり避けられない問い掛けでもあるがゆえに目新しいものではありません。書店に行けばSDGsを謳った書籍は山のように積み上げられているし、ネットを探れば関連情報はたくさん出てきます。もしかしたらこのコメントを読んでいる皆さんのなかにも、学校で既に課題として直面した人たちがいるかもしれません。

だからこそ本課題においては、どこかで見たことがあるような提案や、万人受けするような平坦な提案ではなく、誰も見たことがないもの、誰も考え付かなかったこと、センスの良い問い掛けを評価したいと思っています。

細部は粗くても構わない。少々のデザインの不備も仕方がない。そのアイデアを見た時に、新鮮な驚きを与えてくれるようなもの、心をときめかせてくれるような切り口、そんな提案を見たい。

柔軟な発想力と想像力、そして君達の創造力に期待したいと思います。

1. 提案条件

- ① 2050年カーボンニュートラルな脱炭素社会を目指し、以下の1)あるいは2)の視点から持続可能*1な社会につながる提案をすること。
 - 1) 「創造性*2のあるサービス(こと)」の「プロセスデザイン(どのようなストーリーで地域の人々を支援するか)」を提案すること。(「こと」興しの仕掛けのみに特化する「プロセスデザイン」も含まれます。)
 - 2) 「創造性のある製品(もの)」について提案すること。ただし「製品(もの)」がどのようにカーボンニュートラルを実現する脱炭素な社会に繋がるかについての「プロセスデザイン(ストーリー)」も併せて提案してください。
- *1 持続可能とは、SDGs(持続可能な開発目標)などの国際的な取組みがあるので参考にするように。
*2 創造性とは多様な人々による様々な視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれたもの。
- ② 社会あるいは都市や地域(人、企業・自治体・NPO・住民組織など)が抱えている課題を解決するための「こと」を興すプロセスならびに「もの」を提案すること。社会あるいは地域課題を捉えるには、“現場の情報に当たる”必要があるが、その方法としては、まず仮説を立て、その仮説を検証するフィールドワーク(観察)、インタビュー調査などが考えられる。できれば、当事者(課題を抱えている人)の声を直接聞き、そして共感(empathy)して問題の本質を探り当てるように心がけること。
 - ③ プロセスデザインは、人(当事者)のニーズから出発し、目標とする社会、地域を実現するためのプロセスを提案するものと考えてください。そのプロセスには、地域資源や既存技術・実現可能と思われる技術・知識をどう融合させるか、地域内外の人々がどうコミュニケーションするか、といった内容が含まれます。本課題では、こうしたプロセスに高専がいかに関わるか、その役割について可能な限り示すこと。

2. 評価指標

提案は、次の五つの視点(地域性、自立性、創造性、影響力、実現・持続可能性)から評価する。従って、以下の①～⑤の内容を含むように留意すること。

- ① 地域性(地域の事情を踏まえた施策であること)

客観的なデータにより各地域の事情や将来性を十分に踏まえた持続可能な提案であること。
- ② 自立性(自立を支援する施策であること)

地域・企業・個人の自立に資するもの、「ひと」「しごと」の移転・創造を含み、特に外部人材の活用も含め「ひと」「もの」づくりにつながる提案であること。
- ③ 創造性(多様な人々により熟考されていること)

創造性を意識した提案であること。創造性は、多様な人々によるさまざまな視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれるといわれている。創生事業は、一つの分野だけで解決できるものではない。そこに関係する様々な人々を巻き込んで生まれた創造性のあるアイデアを提案すること。
- ④ 影響力(課題解決に対する影響力)

本テーマに応募する原動力となった課題に対して、提案したアイデアがいかにパワフルで影響力がありそうかを評価する。一過性のものでなく、深く・強いアイデアを期待する。
- ⑤ 実現・持続可能性(2050年までの実現可能性が1%でも見いだせればよい)

万人が納得できる論理的根拠に基づく提案であること。

3. 競技方法

創造デザイン部門は、予選と本選に分けて実施する。

(1) 予選

審査員はプレゼンテーションポスターA3 サイズ（横向き）1枚（画像データ）に基づき地域性、自立性、創造性、影響力ならびに実現・持続可能性の視点から審査を行い、その結果から本選に出場する10点以内の作品を選出する。なお予選時の審査得点は地域性、自立性、創造性、影響力ならびに実現・持続可能性について各10点、また重点的に評価してほしい2項目については得点を2倍とし合計70点満点にて採点を行う。審査結果は、デザコン 2024 in 阿南公式ホームページ（<https://デザコン.com>）に公開する。審査結果は、10月上旬に公開予定である。

※プレゼンテーションポスターは添付しているPPTファイルをダウンロードしてご利用ください。

(2) 本選

本選 1 日目は、予選結果連絡時のフィードバックコメントをもとにブラッシュアップしたパワーポイント資料を持ち込み、プレゼンテーション等を行う。そのうえでワークショップを行い、さらにパワーポイント資料をブラッシュアップする。本選 2 日目は、1 日目にブラッシュアップしたパワーポイント資料を使用したプレゼンテーションを行い、審査員の評価によって賞を決定する。

- ・ 1 日目： 応募チームごとのパワーポイントによるプレゼンテーション、各種ワークショップ、パワーポイント用プレゼンテーション資料用のブラッシュアップ
- ・ 2 日目： プレゼンテーション、審査員講評

詳細は、10月上旬にデザコン 2024 in 阿南公式ホームページに公開される本選出場要項にて改めて説明する。

4. 応募方法等

Web による手続きとする。Web による手続きを利用するためには、Google アカウントが必要となる。なお、創造デザイン部門では、提案資料の画像データファイルのアップロード（Web）による提出を求める。

(1) 質疑応答

募集要項の内容（課題内容、提案条件）に関する質疑応答は行わない。

(2) 予選エントリー時の提出物

①予選エントリー時の提出物（創造デザイン部門_エントリーシート）

- ・デザコン 2024 in 阿南公式ホームページ（<https://デザコン.com/>）の様式集から、「創造デザイン部門_エントリーシート」をダウンロードし、必要事項を記入したうえで PDF（.pdf）形式のデータファイルに変換する。

※ダウンロードしたファイルの様式を変更しないでください。

（必ず A3 横 1 枚での提案としてください。）

※画像データのファイル形式は、PDF（.pdf）とすること。

- ・アップロード可能なファイルサイズの上限は 300MB であるが、ファイルサイズはできるだけ小さくすること。
- ・ファイル名は、[高専名・キャンパス名_代表者学生氏名]（「高専」「キャンパス」の文字は除く。）とする。例) 阿南_高専太郎.pdf または 香川_高松_高専太郎.pdf

(3) 予選エントリー手続き

- ① 受付期間：2024年7月22日（月）～8月21日（水）17:00
- ② 応募方法：デザコン2024 in 阿南公式ホームページの創造デザイン部門の「エントリー」から行う（Google アカウント必要）。なお、予選エントリーフォームで入力する「提案概要」の内容は、審査に影響しない。
- ③ 受領確認：エントリー（作品）の受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。エントリー漏れがあった場合には、指導教員が下記メールアドレス宛に8月22日（木）までに連絡すること。

阿南工業高等専門学校 創造デザイン部門事務局 e-mail : dc-24sozo@anan-nct.ac.jp

(4) 本選への参加

本選は、2024年11月2日（土）・3日（日）に実施する。本選の詳細 [本選出場要項等] に関しては、10月上旬にデザコン2024 in 阿南公式ホームページに公開するとともに、予選通過者の指導教員にメールにて直接通知する。

(5) 参加費

- ・予選審査費は1作品につき2,000円とし、本選参加者は1名あたり1,800円とする。
- ・予選審査費は、2024年8月21日（水）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・本選参加費は、2024年10月18日（金）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・振り込み者名は、「部門名称（空白）高専名の略称（空白）担当者名」とすること。
例) ソウゾウ アナン コウセンタロウ
- ・振り込まれた予選審査費および本選参加費について、いかなる場合においても返金には応じない。

【振込口座】

銀行名：徳島大正銀行

店名：阿南支店

店番：002

預金種目：普通預金

口座番号：8584393

口座名義：アナンコウギョウコウトウセンモンガツコウガクセイガカリアズカリキン

5. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは、2～3名で構成する。複数の高専との連合も可とする。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一人物が他部門も含め複数のチームに参加することは認めない。
- (5) 同一人物の予選へのエントリー制限について：

デザコン 2024 では、空間デザイン部門・創造デザイン部門・AM デザイン部門の 3 部門のうち 1 部門にしか応募することはできない。ただし、この 3 部門で予選通過できなかった場合には、構造デザイン部門への応募を可とする。

6. 審査員及び審査方法

委員長：吉村有司（東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授）

副委員長：中平徹也（特定非営利法人 環境カウンセラー協会 事務局長）

委員：正本英紀（愛媛大学 社会連携推進機構 地域専門人材育成・リカレント教育支援センター 副センター長／准教授）

委員：岡田未奈（特定非営利法人 issue+design ）

ワークショップ・ファシリテーター：坂本真理子（And you 代表）

審査方法は予選、本選とも審査得点をもとに審査員の協議によるものとする。

7. 表彰

- (1) 最優秀賞(文部科学大臣賞)1 点
- (2) 優秀賞 2 点
- (3) 審査員特別賞 2 点

8. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。なお、予選に提出された応募作品についても公開を予定している。

9. 付記

- (1) 応募作品には他のコンテスト、コンペティションに応募したものを使用してはならない。
- (2) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (5) プレゼンテーション資料の作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を用いること。

創造デザイン部門 予選エントリー一覧

高専名（キャンパス名）	氏名（○ 代表者）
釧路高専	○中川 真緒, 野村 日菜子
仙台大専・名取キャンパス	○平塚 愛唯, 亀岡 菜花, 鈴木 おりん
仙台大専・名取キャンパス	○丹野 弘太, 水口 真那杜
仙台大専・名取キャンパス	○近藤 咲羽, 山田 千陽, 福士 明日香
仙台大専・名取キャンパス	○敦賀 柚姫, 高橋 未悠
秋田高専	○長谷川 絢哉, 田口 真治, マセテ ダグラス
石川高専	○保地谷 日南, 大澤 綾乃, 藤田 暖心
福井高専	○小林 佑子, 高間 海友, 水野 真莉
福井高専	○河野 みりあ, 山田 望由奈, 市橋 阿季
豊田高専	○高橋 柊人, 小出 和季
舞鶴高専	○木寺 達士, 芦田 匠
明石高専	○古川 拓海, 二星 怜旺, 長谷川 泰一
明石高専	○大島 桃夏, 長谷川 美乃, 中川 紗那
明石高専	○上田 清加, 編塚 玲哉, 瀧山 彩子
明石高専	○リー タイイー, 磯野 達稀
和歌山高専	○ホール 弘 ケビン, 山崎 宇槻, 黒山 紗依, 最田 ひなた
香川高専・高松キャンパス	○大澤 彩夏, 新延 若奈
香川高専・高松キャンパス	○佐藤 匠, 和泉 光輝
サレジオ高専	○望月 里江子, 佐藤 明咲, 水津 梢英

デザコン2024 創造デザイン部門 予選通過作品 2024/9/30

エントリーNo.	作品名	高専・キャンパス名
1	子どもの遊び×はつでん！未来に繋がるテーマパーク	福井高専
2	押し色でつながる押し活コミュニティ「OXIKARA」	サレジオ高専
3	「まちを染める まちに染まる」	明石高専
4	マッスルチャージ	明石高専
6	灘の酒街で仕込む一伝統の酒造りから生活に”脱炭素な彩り”をー	明石高専
7	ソダテル	和歌山高専
9	公立小学校全寮化	石川高専
10	JIRI SAUNA CITY	釧路高専
12	緑を紡ぐ第一歩 ～2050年のすべての生き物のために～	仙台高専・名取キャンパス

以上9作品

全国高専デザコン 2024 in 阿南 創造デザイン部門 本選出場要項

1. 本選概要

(1) テーマ

未来につなげる脱炭素な社会

(2) 日程

2024年11月2日(土)、3日(日)

(3) 会場

阿南工業高等専門学校専攻科棟3階 講義室3

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

(4) 本選に向けて

本選までの期間、審査員からのコメントを参考にブラッシュアップした提案を発表して頂きます。

2. 審査

(1) 審査方法

- プレゼンテーションおよび質疑に基づき審査を行います。
- 審査員4名の評価により、最優秀賞(文部科学大臣賞)1点、優秀賞2点、審査員特別賞2点を選出します。

(2) 審査委員

- 委員長：吉村有司(東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授)
- 副委員長：中平徹也(特定非営利法人 環境カウンセラー協会 事務局長)
- 委員：正本英紀(愛媛大学 社会連携推進機構 地域専門人材育成・リカレント教育支援センター 副センター長/准教授)
- 委員：岡田未奈(特定非営利法人 issue+design)
- ワークショップ・ファシリテーター：坂本真理子 (and you 代表)

(3) 審査指標

- 予選審査での5つの指標(地域性、自立性、創造性、影響力、実現・持続可能性)への提案とプレゼンテーションを加えた6つの指標で評価します。
- プレゼンテーションは1日目のワークショップを実施した上で、ブラッシュアップいただいた内容をプレゼンテーションで説明いただき、発表終了後に行う質疑応答を総合的に評価します。

3. 本選スケジュール

(1) タイムテーブル

○ 11月2日(土)

8:30~8:50/受付・ポスター掲示

8:50~9:00/オリエンテーション

9:10~10:40/ワークショップ①

- 11：00～11：40／ポスター発表①
11：40～12：30／昼休憩
12：30～13：00／開会式
13：10～13：50／ポスター発表②
14：00～16：00／ワークショップ②
16：00～17：00／ブラッシュアップ
※会場を利用できる時間は17時までといたします。

○ 11月3日(日)

- 8：45～9：30／オリエンテーション・発表準備
9：30～12：00／プレゼンテーション
12：00～13：00／昼休憩
13：00～13：20／審査結果発表・総評
13：30～14：30／閉会式

(2) 詳細

11月2日(土)

○受付(8:30～8:50)

受付と同時にポスターセッションで利用するポスターを掲示いただきます。時間内での掲示をよろしくお願いたします。

○オリエンテーション(8:50～9:00)

オリエンテーションに不参加のチームは失格になる場合がありますので、メンバー全員が必ず出席して下さい。また、大会当日、事務局から本要項を配布しませんので、事前に各自で本要項を印刷するなど準備して下さい。

○ワークショップ①(9:10～10:40)

脱炭素に向けたヒントを学ぶ「脱炭素まちづくりPLAY」にチャレンジしていただきます。学生交流(アイスブレイク)を兼ねてのワークショップとなります。

○ポスターセッション①(11:00～11:40) [前半4チーム]

○ポスターセッション②(13:10～13:50) [後半5チーム]

審査員への発表持ち時間は1チーム当たり、発表3分 + 質疑応答3分 + 入替1分です。

●ポスターセッションについて

各チームに900mm(W) × 1800mm(H)のパネルを用意します。こちらに掲示できるポスターをご準備ください。ただし、最大サイズはA1(841mm×594mm)といたします。また、掲示いただいたポスターを利用してワークショップ②を実施いたします。ポスターの上に付箋を貼ったり、意見を書いたりしながら、作品をブラッシュアップしていく予定です。

○ワークショップ②(14:00～16:00)

ワールドカフェを実施いたします。参加者の意見を伺いながら作品をブラッシュアップする方法を考えてください。(審査員が参加することもございます)パネル前に椅子を動かした状態でのワークショップとなります。PC等を置く机のみ準備いたします。

○ブラッシュアップ(16:00～17:00)

ワークショップでは、各チーム間のアイデア共有を行ったあと、チーム内で意見をまとめます。その後、各自の提案のブラッシュアップ作業に入ります。

11月3日(日)

○オリエンテーション (8:45~9:30)

オリエンテーションに不参加のチームは失格になる場合がありますので、メンバー全員が必ず出席して下さい。プレゼンテーションの発表順を決定いたします。

○プレゼンテーション (9:30~12:00)

審査員への発表持ち時間は1チーム当たり、発表7分+ディスカッション7分+入替1分です。プロジェクタ(HDMI接続)1台、スクリーン1台で審査員に対して提案の説明を行います。またプロジェクタには各自持参したPC(HDMI接続コネクタを有すること)を接続し、ポスターの内容、スライド、写真や動画などを投影し、プレゼンテーションを行います。

○審査結果発表・総評 (13:00~13:20)

審査指標に基づき審査員4名により協議され最終決定されます。結果発表は、総評もしくは閉会式で行います。

4. ポスター展示およびデータ提出について

○各チームで持参してください。11月2日受付後、8:50までにポスターの展示をしてください。なお、前日の会場への入場は禁止させていただきます。なお、大会期間中、パネル前などに模型を展示するスペースは設けません。ご注意ください。

○本選ポスターの画像データおよび制作中の様子やチーム集合写真のデータについてオフィシャルブックへの掲載のため、下記の要領で提出してください。

- ・アップロードフォームの URL <https://forms.office.com/r/ecMTJgeQuh>
- ・アップロード締切日時 11月1日 12:00 まで

※大会運営者側の過失によるものを除き、すべてのファイル提出がない場合は棄権とみなすことがありますのでご注意ください。

※本選ポスターの画像データ

ポスターをPDFデータでアップロードしてください。

PDFデータのファイル名は、エントリーNo.+高専名(例99阿南高専)としてください。

2枚以上ある場合はデータを分けずに1つのPDFデータとしてください。(セキュリティはかけないようにしてください)なお、最大ファイルサイズは100MBです。

※制作中の様子やチーム集合写真

制作中の様子(4枚以上)やチーム集合写真(2枚以上)のデータをアップロードしてください。(1枚2MB程度としてください)ピースサインはお控えください。

ファイル名は、エントリーNo.+高専名+写真No.(例99阿南高専1)としてください。

各チームでアップできるファイル数は10個までとします。

○本選プレゼンテーションファイルの提出

11月3日プレゼンテーション終了後、発表時に使用したファイルをオフィシャルブックへの掲載のため、下記の要領で提出いただきます。

- ・アップロードフォームの URL <https://forms.office.com/r/EJZtynWjyG>

※プレゼンテーション終了後すぐに提出ください。

5. 参加費

○本選参加費は参加者1名あたり1,800円とし、本選参加費は2024年10月22日(火)までに以下の口座に振り込んでください。

【振込口座】

銀行名：徳島大正銀行

店名：阿南支店

店番：002

預金種目：普通預金

口座番号：8584393

口座名義：アナンコウギョウコウトウセンモンガツコウ
ガクセイガカリアズカリキン

振込者名：「部門名称（空白）高専名の略称（空白）担当者名」とする。

例）クウカン アナン コウセンタロウ

*振り込まれた本選参加費は、いかなる場合においても返金には応じない。

6. 作品の送付

①ポスターの送付について

ポスターを送付する場合は、下記の住所へ【11月1日（金）12:00～17:00】の間に到着するよう、日時指定をしてお送りください。

<宛先>

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

阿南工業高等専門学校 デザコン 創造デザイン部門

<依頼主名の表記>

エントリーNo.○・高専名・代表者氏名

【注意】作品の梱包については輸送時に破損等のないように万全を期してください。

②ポスター等の取り扱いについて

ポスターの展示や審査後の梱包と返送作業等については、原則各学校の参加教員・学生で行ってください。

7. その他

- 応募作品の著作権は基本的に製作者に帰属しますが、主催者の使用を妨げないものとします。
- オフィシャルブックには応募作品と共に指導教員の氏名が記載されます。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意をいただいたものとします。
- 本要項に変更があった場合は、随時デザコンホームページで連絡または本選オリエンテーション時に説明します。
- 発表 内容については著作権に十分配慮してください。

8. 問い合わせ先

阿南工業高等専門学校創造デザイン部門事務局

e-mail：dc-24sozo@anan-nct.ac.jp

事務的な質問のみ受け付けます。課題内容の質疑は受け付けません。

デザコン 2024 in 阿南 受賞一覧

創造デザイン部門	No.	高専名	作品名
最優秀賞（文部科学大臣賞）	2	サレジオ高専	推し色でつながる推し活コミュニティ「OXIKARA」
優秀賞	9	石川高専	公立小学校全寮化
優秀賞	7	和歌山高専	ソダテル
審査員特別賞	4	明石高専	マッスルチャージ
審査員特別賞	12	仙台高専・名取キャンパス	緑を紡ぐ第一歩 ～2050年のすべての生き物のために～

第21回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2024 in 阿南「繋」

AMデザイン部門 募集要項

【テーマ：人と人が豊かにつながるものづくり】

【課題概要】

阿南大会のAMデザインのテーマは、「人と人が豊かにつながるものづくり」です。世界では感染症や絶えることのない紛争、気候変動、水問題と様々な出来事や諸問題が生じ、それに応じて急速にかつ大きく世界が変化しています。

こんなときだからこそ、人と人が豊かにつながるものが求められています。大きく変革する現代において、「繋がる」を模索し、「人と人が豊かにつながるものづくり」を開発テーマとして、人のつながりを豊かにするアイテムのアイデアを募集します。これまでにない新しく・便利なものだけにフォーカスするだけでなく、人のつながりを豊かにする、すなわち、人の連携を強くできる、ふれあいが増えるといったアイテムを3Dプリンターの特性を活用し提案してください。

1. 提案および作品の条件

- ① 作品は「人と人が豊かにつながるアイテム」とします。
- ② 作品の部品または、作品の製作工程に必要な部品を3Dプリンター技術により作製してください。実物の機器あるいは模型を製作し、実際に稼動するもの（あるいは稼動状態を模擬できるもの）を示してください。実物スケールである必要はありません。
- ③ 可能な限り、会場にて実演を行ってください。会場で実演できない場合は、ビデオ撮影での対応や、動作の代替物（例えば水で動作するものをビーズでの動作に置き換える等）を用いた実演をしていただいても構いません。
- ④ 3Dプリンターで用いる原材料の種類は問いません。また、エントリーシート提出時に想定した原材料と提出作品に用いる原材料を必ずしも一致させる必要はありません。
- ⑤ 強度計算等の計算を行い、実製品として実現可能性を示してください。実製品を想定する際には一般的な金属（鉄、アルミ、ステンレス等）を使用することを想定しても構いません。
- ⑥ 作品の部品のうち、ボルトなどのネジ類、バネ類、ゴム類については作品の主要部品に含めず、市販品の使用を認めます。また、市販の電子デバイスモジュール等についても使用を認めます。
- ⑦ 特許性がある場合は、必ず大会までに特許の申請を開始しておいてください。また、提案内容が既存特許への抵触がある場合は、事前に特許検索などにより提案者および指導教員が責任をもって確認し、提案書に提示してください。
- ⑧ 現状の法令等との適合度は問いません。

2. 評価指標

提案は、次の4つの視点で評価します。従って、以下の①～④の内容を含むように留意してください。ただし、その配分は非公開とし、審査員に委ねる。

① 3Dプリンターの特長および必然性

3Dプリンターは、これまでの切削加工、射出成形と異なり、切削工具や金型が不要な成型、加工技術である。3Dプリンターは、材料や付加加工の違いから数種類のものがあり、その特性も異なる。成型法の例を挙げると、液相光重合法、シート積層法、結合剤噴射法、材料押出法、材料噴射法、粉末床溶融結合法、指向エネルギー堆積法などがある。材料押出法で材料として溶融樹脂を用いた安価な3Dプリンターが販売されているが、宇宙開発などで用いられる部品としては粉末床溶融結合法で金属の粉末を用いて造形するものもある。また樹脂にしてもプラスチックのようなABS樹脂から、柔軟なものでマスクなどをカラーで造形するものまである。加えて、一体造形ができることから、ベアリングなどを最初から組み込んで造形や、切削ではできなかった部品内部の構造（空隙や管路など）まで設計でき、軽量化、断・放熱、熱交換などの機能を有した部品まで造形できる。単に造形できるだけでなく、切削加工、射出成形と差別化されていなければならない。

② 実現可能性（10年後までの実現可能性が1%でも見いだせれば良い）

実現性は、今すぐ実現、実行できるものでなくても良いが、このアイデアが必要であることを、論理的に説明していること求める。

③ 独自性

アイデアは応募者のオリジナルであること。既存の製品などの改善、改良も良いが、オリジナル性は低いと審査することもある。応募作品のどの点に独自性があるかをアピールすること。

④ 社会への影響力

アイデアを用いる、採用することによって、現在の何が、何をして、どのように変わるのかを、論理的に説明していることを求める。多数派の人を対象とせず、少数派の視点にたって説明をしてもよい。

3. 競技方法

大会前の予選と大会当日の本選に分けて実施する。

3.1 予選

- ① 2章に記す「評価指標」および、6.3節に記す「審査基準」の(a)～(c)に基づき、提出されたエントリーシートの内容を審査・評価し、本選に出場するチームを選出する。
- ② 審査結果は、9月上旬にデザコン 2024 in 阿南公式ホームページ (<https://デザコン.com/>) にて公開するほか、予選通過をした各チームの指導教員へ e-mail により連絡する。

3.2 本選

口頭発表とポスター（実演）発表については、以下の通りとする。予選から改良した点や工夫した点があれば、それらの点を含めて提示すること。ただし、予選でのアイデアと本選でのアイデアが本質的に異なることは認められない。なお、発表時間などの詳細については9月中旬に公表する。

(1) 本選開催日：11月2日（土）、3日（日）

(2) 口頭発表

パワーポイントを用いて提案するアイテムについて発表し、審査員との質疑応答を行う。

(3) ポスター（実演）発表

ポスターや作品を用いて提案するアイテムについて発表し、審査員との質疑応答を行う。

- 必須の展示物

- ・ ポスター1枚 (A1版・縦置き、印刷物を持参すること)
- ・ 作品 (3Dプリンターを活用した造形物)
- 任意の展示物※以下の展示を許可する
 - ・ 補助的な説明用のポスター (A1版・縦置き 1枚まで)
 - ・ ノートパソコンや DVD プレイヤ等によるプレゼンテーション
- 注記
 - ・ 作品等を展示するスペースは、1チームあたり、テーブルの幅 1800mm×奥行き 600mm (予定：本選出場要項に確定した情報を記載する) の範囲とする。また、作品の最大高さを 1500mm までとする。ポスター発表で使用するノートパソコンやDVDプレイヤ等の機材は、各チームで用意することとする。
 - ・ 口頭発表で用いるパワーポイントファイル (.ppt あるいは.pptx) と、必須ポスター1枚のPDF形式ファイル (.pdf) を提出すること。提出方法などの詳細については、10月中旬までに連絡する。

4. 応募方法

Web による手続きとする。

4.1 質疑応答

募集要項の内容 (提案条件、競技方法等) に関する質疑応答を下記の期間・方法にて受け付ける。

- ① 受付期間：2024年4月22日 (月) ～ 5月7日 (火) 17:00
- ② 質問方法：デザコン 2024 in 阿南公式ホームページの AM 部門の「質疑受付」から行う (Google アカウントが必要)。
- ③ 回答公開：5月中旬に、デザコン 2024 in 阿南公式ホームページ (<https://デザコン.com/>) にて、回答の内容を公開する。

4.2 予選エントリー手続き

(1) 予選エントリー時の提出物 (AM デザイン部門_エントリーシート)

- ・ デザコン 2024 in 阿南公式ホームページ (<https://デザコン.com/>) の様式集から、「AM デザイン部門_エントリーシート」をダウンロードし、必要事項を記入したうえで PDF (.pdf) 形式のデータファイルに変換する。
- ・ アップロード可能なファイルサイズの上限は 300MB であるが、ファイルサイズはできるだけ小さくすること。
- ・ ファイル名は、[高専名・キャンパス名_代表者学生氏名] (「高専」「キャンパス」の文字は除く。) とする。
例) 阿南_高専太郎.pdf または 香川・高松_高専太郎.pdf

(2) エントリー方法

- ・ 受付期間：2024年7月24日 (水) ～2024年8月7日 (水) 17:00
- ・ 応募方法：デザコン 2024 in 阿南公式ホームページの AM 部門の「エントリー」から行う (Google アカウントが必要)。なお、アップロードされたエントリーシートは、審査資料として使用される。
- ・ 受領確認：エントリー(作品)の受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスに内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。エントリー漏れがあった場合には、指導教員が下記メールアドレス宛に 8月8日 (木) までに連絡すること。

阿南工業高等専門学校 AM デザイン部門事務局 e-mail : dc-24am@anan-nct.ac.jp

4.3 本選への参加

予選の審査結果は、9月上旬までにデザコン 2024 in 阿南公式ホームページ (<https://デザコン.com/>) で公開するとともに、予選通過者の指導教員にe-mailで通知する。また、本選の詳細 [本選出場要項] についても、9月中旬までに、審査結果と同様の方法で、公開および通知する。

4.4 参加費

- ・ 予選審査費は1作品につき2,000円とし、本選参加費は 1 名あたり1,800円とする。
- ・ 予選審査費は、2024年8月7日（水）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 本選参加費は、2024年10月18日（金）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・ 振り込み者名は、「部門名称（空白）高専名の略称（空白）担当者名」とすること。
例） A M アナン コウセンタロウ
- ・ 振り込まれた予選審査費および本選参加費について、いかなる場合も返金には応じない。

【振込口座】

銀行名：徳島大正銀行
店名：阿南支店
店番：002
口座種別：普通預金
口座番号：8584393
口座名義：アナンコウギョウコウトウセンモンガツコウガクセイガカリアズカリキン

5. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは、1～4名で構成する。
- (3) チームメンバーの所属する学科・コースや専攻は問わない。
- (4) 同一部門で同一人物が複数のチームに参加することは認めない。
- (5) 同一人物の予選へのエントリー制限について：
デザコン 2024 in 阿南では、空間デザイン部門・創造デザイン部門・AMデザイン部門の3部門のうち、1部門にし
か応募することはできない。ただし、この3部門で予選通過できなかった場合には、構造デザイン部門への応募を可
とする。

6. 審査員、審査方法および審査基準

6.1 審査員

委員長：山口 堅三（徳島大学 ポストLEDフォトンクス研究所）

委員：永瀬 薫（ダッソー・システムズ株式会社

SOLIDWORKS / 3DEXPERIENCE WORKS 営業技術部 東日本テクニカルセールス課）

委員：米原 牧子（経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐）

6.2 審査方法

予選・本選とも、審査は、審査員による採点と協議により行う。

6.3 審査基準

(1) 審査員による審査

審査員が以下の審査基準に従い審査を行い、審査員相互の協議により総合的に審査を行う。評価基準に従い審査する際には、2.評価指標を鑑みる。

審査基準

(a) 新規性・独創性・活用性【配点 15 点×3 名=45 点】

現状での社会問題の解決、あるいは生活利便性が向上するとともに人とのつながりを豊かにするアイデアであるか、さらに新規性・独創性があるかを審査・評価する。新しさ・驚き・ときめき・感動・楽しさ・人とのつながりを感じさせるアイデアを提示すること。

評価指標【①、②、③】

(b) 技術的課題の解決・実用性【配点 15 点×3 名=45 点】

技術的課題の解決および作品の作動状況について審査・評価する。技術的課題の解決は可能な限り定量的に評価した結果を提示すること。また、作品の動作状況を確認し、アイデアを実現できているかについて審査・評価する。

評価指標【①、②、④】

(c) プレゼンテーション力【配点 10 点×3 名=30 点】

口頭発表とポスター発表において、内容および構成が優れているか、スライドやポスターの見やすいか、発表者の声、態度などが適切か、審査員との質疑応答の内容および理解力が優れているかを審査・評価する。

評価指標【④】

(2) 学生相互による投票

AMデザイン部門本選に出場するチームは、持ち点 1 点を、自らの作品以外で最も良い作品に投票する。得票数は審査点に加算する。

7. 表彰

(1) 最優秀賞（経済産業大臣賞（予定）） 1 点

(2) 優秀賞 2 点

(3) 審査員特別賞 2 点

8. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に帰属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載、またWeb等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには、応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者の申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。本選で提示されたポスターは原則的に公開を予定している。

9. 付記

- (1) 応募作品は他のコンテスト、コンペティションに応募していないものとする。
- (2) 募集要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品の取り扱いについて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (4) 発表用資料および予選通過者の作品紹介にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を行うこととする。
- (5) 応募要項の更新をデザコン 2024 in 阿南 公式ホームページ上で随時行うので、適宜確認すること。

AMデザイン部門 予選エントリー一覧

高専名（キャンパス名）	氏名（○代表者）
仙台高専・名取キャンパス	○松森 英香, 芳賀 楓, 小山 真瑞空
仙台高専・名取キャンパス	○緑 伽恋, 澤村 俊亮, 佐藤 徹平, 平賀 陽仁
仙台高専・名取キャンパス	○伊藤 圭吾
仙台高専・名取キャンパス	○今野 和花, 郷右近 咲來
仙台高専・名取キャンパス	○川戸 佑夏, 千葉 莉衣奈, 加川 美織, 佐藤 麻緒
仙台高専・名取キャンパス	○渡邊 尚育
鶴岡高専	○佐藤 心吾, 金内 啓, 澤田 羽衣, 山内 美怜
石川高専	○安田 有佑, 西 海翔, 早瀬 健太, 弓田 慈人
石川高専	○棚田 幸之助, 塚本 さくら, 高 暖奈, 兼保 美憂
福井高専	○梅田 高充, 土井 春輝, 松井 実玖, 桑原 渚生
福井高専	○駒野 翔太, 内田 陽翔
岐阜高専	○山下 璃空, 後藤 雄多, 服部 達也, 安立 颯太, 杉山 瑛大
沼津高専	○湯山 修恩, 望月 久鈴, 伊豆川 湊斗, 霜田 理世
鳥羽商船高専	○今西 遥人, 村田 麻衣, 大仲 真三人, 樋口 大翔, 平田 弦己
鳥羽商船高専	○柴原 俊斗, 永野 柊羽, 袖野 風冴, 齊藤 奈那, 黒川 彪雅, 中山 雄斗
奈良高専	○谷山 達郎, 中辻 美憂, 升岡 瑞葉, 田代 駿
奈良高専	○岡本 圭太, 上本 匠朗, 内藤 大貴, 中嶋 勇介
奈良高専	○山根 涼雅, 宇野 暁斗, 田中 将斗, 中村 悠人
奈良高専	○田丸 涼太郎, 井上 寛太, 喜多 拳世, 堀江 祥輔
奈良高専	○山本 理人, 寺田 洋大, 野村 太一, 水田 来悟
奈良高専	○田中 士大, 永井 一颯, 宮本 博司, 森 快仁
奈良高専	○鎌谷 恵衣, 東方 杏志郎, 溝上 穹, 吉松 蒼唯
奈良高専	○加藤 公誠, 桑原 幸汰, 上代 稜真, 高橋 水木
奈良高専	○清原 大雅, 高村 潔孝, 中筋 風伍, 野田 和成
奈良高専	○江口 開, 上山 颯大, 酒井 敦也, 森川 丞
弓削商船高専	○鴨川 隼
弓削商船高専	○菅野 琴路, 萩原 聖大, 清水 大輔
サレジオ高専	○坂東 礼実, 小嶋 廷音, 大類 咲希
サレジオ高専	○松本 昊士, 田後 朋輝, 松平 亜弥子
大阪公立大学高専	○廣海 功航
神戸市立高専	○妹尾 咲希, 芝田 璃桜, 廣瀬 凌士, 藤原 幹大
神戸市立高専	○早川 朋希, 吉川 忠馬, 山崎 響揮, 橋本 凌空

デザコン2024 AMデザイン部門 予選通過作品 2024/9/4

エントリーNo.	作品名	高専・キャンパス名
3	カーシート揺れ対応システム	サレジオ高専
10	BeatLinkS	沼津高専
13	はしもっとくん	仙台高専・名取キャンパス
14	ぐんぐんト一樹ング	大阪公立大学高専
17	shake hands	神戸市立高専
23	ヒールラクテクター	弓削商船高専
26	Versaマスク	鳥羽商船高専
27	N-grip	仙台高専・名取キャンパス

以上 8作品

全国高専デザコン 2024 in 阿南 AMデザイン部門 本選出場要項

1. 開催日

2024年11月2日（土）、3日（日）

2. 本選概要

本選では、予選時の提案からより具体的に内容を深めた作品を提出すると共に、パワーポイントなどを使用してプレゼンテーションをしていただきます。さらに、会場にてポスターや提案する作品を用いた説明・実演および審査員とのディスカッションを行います。

3. 本選までにやるべきこと

下記5点のご協力をお願いします。

1. 実働（または実働を模擬する事）が可能な作品の製作
2. プレゼンテーションの準備
3. ポスター1枚（A1版・縦）の印刷（ポスター1枚厳守）
4. 集合写真・製作作業の様子を捉えた写真の撮影
5. プレゼンテーション資料（.ppt/.pptx）・ポスター（.pdf）データ・4の写真を格納したCD/DVD-ROMの作成

4. 審査方法

全てのAMデザイン部門本選出場チームが口頭発表・質疑応答およびディスカッションを行い、審査員による審査から総合的に評価を行う。

(1) 審査員による審査

審査員3名が以下の審査基準と協議により審査を行う。

審査基準

(a) 新規性・独創性・活用性【配点15点×3名=45点】

今回のテーマに沿う・社会問題の解決に繋がるアイデアであるか、さらに新規性・独創性があるかを審査・評価する。新しさ・驚き・ときめき・感動・楽しさを感じさせるアイデアを提示すること。

(b) 技術的課題の解決・実用性【配点15点×3名=45点】

技術的課題の解決および作品の作動状況について審査・評価する。技術的課題の解決は可能な限り定量的に評価した結果を提示すること。また、作品の動作状況を確認し、アイデアを実現できているかについて審査・評価する。

(c) プレゼンテーション力【配点10点×3名=30点】

口頭発表とポスター発表において、内容および構成が優れているか、スライドやポスターの見やすいか、発表者の声、態度などが適切か、審査員との質疑応答の内容および理解力が優れているかを審査・評価する。

(2) 学生相互による投票

AMデザイン部門本選に出場するチームは、持ち点1点を自らの作品以外で最も良い作品に投票する。得票による得点は審査員による審査点に加算する。

5. 審査員

委員長：山口 堅三（徳島大学 ポストLEDフォトニクス研究所 准教授）

委員：永瀬 薫（ダッソー・システムズ株式会社）

SOLIDWORKS / 3DEXPERIENCE WORKS 営業技術部 東日本テクニカルセールス課）

委員：米原 牧子（経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐）

6. 概略日程

11月2日（土）		11月3日（日）	
8:30～9:30	受付	8:30～8:45	受付
9:30～9:40	オリエンテーション	8:45～9:00	オリエンテーション
9:00～11:00	作品・ポスター掲示→作品写真撮影	9:00～11:15	ディスカッション
9:40～11:00	技術交流	11:15～11:45	審査・集計
11:00～12:20	適宜昼食	11:45～12:00	審査委員総評
12:30～13:00	開会式（第1体育館）	12:00～13:30	適宜昼食
13:15～16:00	プレゼンテーション	13:30～14:30	表彰式・閉会式（第1体育館）

7. 詳細

7. 1 受付（11月2日(土)8:30～9:30）

口頭発表の順番は受付時にくじ引きを行い決定します。順番はオリエンテーションでお知らせします。また、口頭発表で用いるパワーポイントファイル（.ppt あるいは.pptx）と、必須のポスター1枚のPDF形式ファイル（.pdf）、および集合写真・作業風景の写真を格納したCD-ROMまたはDVD-ROMを提出してください。

7. 2 作品およびポスターなどの展示準備（11月2日(土)受付後）

受付終了後、作品展示およびポスター掲示を行ってください。また準備が整ったチームから、オフィシャルブック掲載用の写真撮影および持参されたPC等とプロジェクタとの接続確認を行ってください。

- 必須の展示物
 - ・ポスター1枚（A1版・縦置き、印刷物を持参すること）
 - ・作品（3Dプリンタを活用した造形物）
- 任意の展示物 ※以下の展示を許可する。
 - ・補助的な説明用のポスター（B2版・縦置き1枚まで）
 - ・ノートパソコンやDVDプレイヤー等によるプレゼンテーション（11月2日の受付後に設置可）
- 注記

作品等を展示するスペースは、1チームあたり、テーブルの幅1800mm×奥行き600mmの範囲とします。また、作品の最大高さを1500mmまでとします。ディスカッションで説明に使用するノートパソコンやDVDプレイヤー等の機材および補助説明用のポスターフレーム等は、各チームで用意してください。

7. 3 オリエンテーション (11月2日(土)9:30～9:40)

オリエンテーションに不参加のチームは失格になる場合がありますので、メンバー全員が必ず出席して下さい。また、大会当日、事務局から本要項を配布しませんので、事前に各自で本要項を印刷するなど準備して下さい。オリエンテーションでは、以下の内容を実施します。

- (a) 本選実施方法の説明と諸注意 (当日変更内容を含む可能性があります)
- (b) 口頭発表の発表順の発表

7. 4 口頭発表 (11月2日(土)13:15～16:00)

口頭発表で使用するノートPC等 (HDMIコネクタでプロジェクタに接続できること) は各チームで用意して下さい。口頭発表は表1に従って進行します。PowerPoint等を用いて発表して下さい。特に、各評価基準について簡潔に説明して下さい。

表1 口頭発表タイムテーブル

13:15	～	13:30	実施方法の確認と諸注意
13:30	～	13:45	口頭発表 No.1
13:45	～	14:00	口頭発表 No.2
14:00	～	14:15	口頭発表 No.3
14:15	～	14:30	口頭発表 No.4
14:30	～	15:00	休憩・時間調整
15:00	～	15:15	口頭発表 No.5
15:15	～	15:30	口頭発表 No.6
15:30	～	15:45	口頭発表 No.7
15:45	～	16:00	口頭発表 No.8

※時刻は目安です。当日の状況により変更の可能性があります。

- (a) 1チームの発表時間9分、質疑応答・交替6分の合計15分です。呼び鈴は発表開始から6分で1回、9分で2回の順に鳴ります。2回目の呼び鈴を目処に発表を終えられるように準備してください。
- (b) 提案する「作品」を説明する目的に限り、発表内に作品を用いた実演の映像の再生を含んでも構いません。ただし、危険行為および人を不快に感じさせる可能性のある行為や内容の全てを禁止します。禁止事項に抵触すると判断した時点で、発表を強制終了し、予告無しで失格にする可能性がありますので注意して下さい。
- (c) チームの登録メンバーであれば、発表時の参加者の人数は任意ですが、登録メンバー以外の参加や実演の全てを禁止します。

7. 5 審査員による質疑(ディスカッション) (11月3日(日)9:00～11:15)

各チームを3名の審査員が巡回し、全ての作品の審査を行います。各チームは、パワーポイント等やポスターを用いた説明、および作品の実演を行い、質疑に答えて下さい。

- (a) 3名の審査員は、1チーム10～15分程度で口頭発表の順に審査に回ります。
- (b) 説明者の人数等は任意です。ただし、チームの登録メンバーに限ります。

※説明者が会場にいない場合は、予告なく失格とする可能性があります。

7. 6 審査員総評（11月3日(日) 11:45～12:00）

- (a) 後述の「8. 表彰」に記載された各賞の選定は、「4. 審査方法」に記載の通り、審査員による審査の総合点数、および参加チームの投票数を基に審査員3名により協議され最終決定されます。
- (b) 結果発表は、総評もしくは閉会式で行います。

8. 表彰

- ・最優秀賞（経済産業大臣賞）1点
- ・優秀賞 2点
- ・審査員特別賞 2点

9. 注意事項

- (a) 特許性がある場合は、必ず大会までに特許の申請を開始しておいてください。また提案内容が既存特許への抵触がある場合は、事前に特許検索などにより提案者および指導教員が責任をもって確認し、提案書に提示してください。
- (b) 予選でのアイデアと本選でのアイデアが本質的に異なることは認められません。そのような場合、判明した時点で予告なく失格とします。
- (c) 本選当日までに本選要項などが変更される可能性があります。本選前に再度確認をお願いします。

10. 参加費

- ・本選参加費は、参加者1名あたり1,800円とする。
- ・本選参加費は、2024年10月18日（金）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・振り込み者名は、「高専名の略称、空白、エントリー番号、空白、担当者名」とすること。

例) アナン 番号 コウセンタロウ

- ・振り込まれた予選審査費および本選参加費について、いかなる場合も返金には応じない。

【振込口座】

銀行名	： 徳島大正銀行
店名	： 阿南支店
店番	： 002
口座種別	： 普通預金
口座番号	： 8584393
口座名義	： アナンコウギョウコウトウセンモンガツコウガクセイガカリアズカリキン

11. 集合写真・製作風景の写真データの事前提出

本選に出場するチームメンバーの集合写真（2枚以上）及び作業中の様子（6枚以上）を撮影していただき、写真データ（1枚2MB程度）をご提供ください。これらの写真はオフィシャルブックに掲載されます。口頭発表で用いるパワーポイントファイルおよびポスターファイルと共にCD-ROMまたはDVD-ROMに格納して受付時に提出してください。

- ・枚数は指定しません。
- ・ピースサインはお控えください。

1.2. 作品の送付

①ポスターおよび作品の送付について

ポスターおよび作品を送付する場合は、下記の住所へ【11月1日（金）12:00～17:00】の間に到着するよう、日時指定をしてお送りください。

<宛先>

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265
阿南工業高等専門学校 デザコン AMデザイン部門

<依頼主名の表記>

高専名・エントリーNo.○・代表者氏名

【注意】 作品の梱包については輸送時に破損等のないように万全を期してください。

②作品等の取り扱いについて

ポスターの展示、作品の開封と展示台への設置や審査後の梱包と返送作業等については、原則各学校の参加教員・学生で行なってください。

③模型のオフィシャルブック用写真撮影について

展示する模型は、オフィシャルブック用に写真撮影を予定しています。11月2日（土）の午前中に写真撮影する予定です。

1.3. 問い合わせ先

阿南工業高等専門学校AMデザイン部門事務局 e-mail : dc-24am@anan-nct.ac.jp

事務的な質問のみ受け付けます。課題内容の質疑は受け付けません。

デザコン 2024 in 阿南 受賞一覧

AMデザイン部門	No.	高専名	作品名
最優秀賞（経済産業大臣賞）	23	弓削商船高専	ヒールラクテクター
優秀賞	13	仙台大専・名取キャンパス	はしもっとくん
優秀賞	27	仙台大専・名取キャンパス	N-grip
審査員特別賞	17	神戸市立高専	shake hands
審査員特別賞	14	大阪公立大学高専	ぐんぐんトー樹ング

第 21 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2024 in 阿南「繫」

プレデザコン部門 募集要項

[テーマ:過去⇒現在⇒未来×「繫」]

[課題概要] プレデザコン部門は、高専の本科3年生までを対象とし、空間デザイン、創造デザイン、AMデザインの3つのフィールドを展開します。空間デザインフィールドでは現存するあるいは過去に実在した構造物をモチーフにプレデザコンテーマを表現するパースを、創造デザインフィールドでは次回大会で使用するトートバッグのデザインを、AMデザインフィールドでは3Dプリンターで造形したオブジェをそれぞれ提案して頂きます。固定概念にとらわれない自由な発想によるデザインを求めます。

共通事項

1. 応募資格など

- (1) 高等専門学校に在籍する本科3年生以下を対象とする。
- (2) チームによる応募は、最大4名までとする。
- (3) チームメンバーの所属する学科は問わない。
- (4) 同一フィールドで同一人物もしくは同一チームが応募できるのは1作品とする。
- (5) 同一高専(キャンパス)が応募できる上限数は、合計12作品まで、同一部門では5作品までとする。
- (6) プレデザコン部門の参加者の、本選への参加は自由とする。
- (7) 応募作品は他のコンテスト、コンペティションに応募していないものとする。
- (8) 募集要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (9) プレデザコンは全ての部門において参加費を徴収しない。

2. 競技方法

会場に作品を展示し、来場者の投票により順位を決定する。投票の持ち点は、デザコン各部門の審査員(5点)、協賛企業(1社5点)、高専教職員・学生・一般来場者(1点)である。

3. 応募方法および作品の注意事項(3フィールド共通部分)

- (1) 作品のエントリーはWeb及び郵送による手続きとする。Web手続き時にGoogleアカウントが必要となる。
- (2) A3判ポスター1枚(横向き)の作成
 - タイトル、作品、コンセプト(横書き300文字以内)をまとめたA3判ポスターを作成すること。
 - 応募者の氏名・所属の記入は認めない。
 - ポスターに用いる紙の素材、質感については問わないが、ポスターに立体物を貼ることは認めない。
- (3) Web投稿時に必要となる画像データファイル
 - A3判ポスターのPDF(.pdf)あるいはJPEG(.jpg)のアップロード用画像データを作成する。
 - アップロード可能なファイルサイズの上限は300MBである。
 - ファイル名は、[高専名・キャンパス名_代表者学生氏名] (「高専」「キャンパス」の文字は除く。)とする。
例) 阿南_高専太郎.pdf または 香川_高松_高専太郎.pdf

4. エントリー手続き

4.1 受付期間

- (1) Web エントリー受付期間: **2024 年 9 月 24 日(火) ~ 10 月 4 日(金) 17:00**
 (2) 郵送物受付期間 : **2024 年 10 月 1 日(火) ~ 10 月 24 日(木) 17:00 必着**

4.2 Web エントリー

- (1) デザコン 2024 in 阿南公式ホームページ (<https://デザコン.com/>) のプレデザコン部門の「エントリー」から行き、A3 判ポスターの画像データファイルをアップロードする。
 (2) エントリーページに作品のコンセプトを400字以内で記載する欄が設けられている。本文章は、デザコン Official Book の作品紹介文として活用される可能性があることに留意する。
 (3) エントリーの受付確認は、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ受付完了メールを自動配信する。メールアドレスは入力ミスがないように十分確認すること。

4.3 作品の郵送

- (1) 製作した各作品を、下記の提出先に郵送する。
 (2) A3 判ポスターについては、パネル化せず、折り曲げずに提出すること。
 (3) エントリー後返信されるメール文章を印刷して、A3 判ポスターと同封すること（昨年度まで行われていた裏面への糊付けを行わないこと）。同校からの応募作品が2つ以上の場合で、1つの郵便物としてまとめて発送する場合は、各 A3 判ポスターとそれに対応するメール文章をそれぞれクリアファイルなどでまとめて同封すること（それぞれの作品が混在しないように仕分けすること）。
 (4) エントリー時の郵送については、発払いとすること。
 (5) 郵送物には、プレデザコン募集要項の最終ページにある送付状を各梱包物の外側の分かりやすい場所に貼り付けること。
 (6) 郵送された作品の受領確認については、プレデザコン部門担当事務局より、各高専の学生課宛に e-mail で連絡する。

作品の提出先:

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木 265 阿南工業高等専門学校
 第 21 回全国高等専門学校デザインコンペティション
 プレデザコン部門担当事務局
 プレデザコン部門担当事務局 e-mail: dc-24pre@anan-nct.ac.jp

5. 表彰

各フィールドにおいて、以下の 3 つの賞が授与される。

- (1) 最優秀賞 (国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)理事長賞(予定))…………… 1 点
 (2) 優秀賞 (一般社団法人全国高等専門学校連合会会長賞(予定))…………… 1 点
 (3) 特別賞 (全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会会長賞(予定)) 1 点

6. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に帰属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。Official Book には、応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。

7. その他留意事項

- (1) 応募作品は原則として返送しない。回収を希望する応募者(または関係者)は、身分証と回収用の段ボール箱等を用意することで、会期中に部門長から回収の許可を得た場合に限り、閉会式終了後に当該応募者の展示物を回収することができる。返送料金は応募者側で負担すること。
- (2) 提出された A3 判ポスター作品をパネル(白縁のフレーム)に入れて展示することを承諾すること。
- (3) プレデザコン部門の表彰式は行わず、後日、受賞者に賞状・副賞を発送する。
- (4) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。

8. 質疑応答

募集要項の内容(課題内容、設計条件)に関する質疑応答は行わない。日程および提出方法などの事務的な質疑については、下記の方法で質問を受け付ける。

- (1) 受付期間: **2024年4月24日(水)～5月10日(金)17:00**
- (2) 質問方法: デザコン 2024 in 阿南公式ホームページのプレデザコン部門の「質疑受付」から行う (Google アカウント必要)。
- (3) 回答公開: 5 月下旬から 6 月上旬にかけて、デザコン 2024 in 阿南公式ホームページのプレデザコン部門の「質疑応答」にて回答を公開する。

空間デザインフィールド

1. 提案条件

現存するまたは過去に実在した構造物をモチーフに、本大会のプレデザコンテーマ「過去⇒現在⇒未来×「繋」」を表現する独創的かつ魅力的な絵を描いてください。全体の構図として、人の目では一般に見られない、写真でも撮ることのできないものとします。また、モチーフとする構造物は1つに限定する必要はありません。

2. 製作物の注意事項

- (1) A3 判ポスター1枚(横向き)に手描きで作成する。
- (2) 手描きの手法はアナログ・デジタルを問わないが、生成 AI を用いないこと。
- (3) トレースなどによって他者の著作権を侵害しないよう注意すること。
- (4) モノクロ・着色は問わない。
- (5) 何をモチーフにした作品であるか鑑賞する人が分かるように、A3 判ポスター内のコンセプト文および WEB 申込時のコンセプト文に説明を記載すること。
- (6) その他条件等は「共通事項」に記載の通りとする。

創造デザインフィールド

1. 提案条件

2025 年度の福井大会で使用するトートバックのデザインを募集する。次回の開催地である[福井]をイメージできるデザインとする。デザインにあたっての要件・制限を以下にまとめる。

- (1) トートバックの寸法は、縦 380 mm、横 330 mm 程度とする。
- (2) 表面のみにデザインを印刷する。
- (3) 余白なども考慮の上、デザインの配置まで提案すること。
- (4) トートバックの色はアイボリー、デザインの色は青色とする(福井高専のスクールカラーをイメージした青系とする)。
- (5) 縦 15 mm、横 60 mm 程度の大きさの協賛企業のロゴの位置を指定すること。
- (6) デザインの意図、コンセプトがわかる説明文を記入すること。
- (7) 作品はアナログによる手描きでもかまわないが、トートバックのデザインとして採用された場合、最終デザイン(印刷されるデザイン)は、手描き(アナログ)のままとするのか、あるいは、デジタル的な処理をするのか、作者との打ち合せを行い決定する。
- (8) 大会で用いる最終デザイン(印刷されるデザイン)を決定するにあたり、作者の確認を取った上で、その意図を十分に汲み取り、デザインの修正や変更を依頼する場合がある。

2. 製作物の注意事項

- (1) A3 判ポスター1枚(横向き)に手描きで作成する。
- (2) 手描きの手法はアナログ・デジタルを問わないが、生成 AI を用いないこと。
- (3) トレースなどによって他者の著作権を侵害しないよう注意すること。
- (4) その他条件等は「共通事項」に記載の通りとする。

AM デザインフィールド

1. 提案条件および製作条件

本大会のプレデザコンのテーマである「過去⇒現在⇒未来×「繋」」を体現した造形を考案し、3Dプリンターで出力する。製作条件等を下記に示す。

- (1) オブジェの大きさは静置した時に幅 400 mm×奥行 400 mm×高さ 500 mm の範囲内にあること。
- (2) 自立可能なこと。
- (3) 3D プリンターで造形したものに限り、その造形方法、造形機種、材料(樹脂の種類など)、色は自由とする。ただし、3D プリンターで造形したもの以外を「造形以外の部品(おもり等)」として用いることができる。これには金属製などの既製のビス、鋳造した金属などを含む。
- (4) 造形は一体ではなく、造形した部品を組立てたものでも良い。また、造形後の加工(切削、研磨、アセトン等による表面処理など)も認める。なお、組立ての際には嵌合のほか、接着剤(種類は問わない)および金属部材を用いてよい。
- (5) (3)の規定の通り、造形に用いる材料の種別は自由であり、部品ごとに造形材料を変えて良い。
- (6) (3)の規定のうち、接着剤を除く「3D プリンターで造形したもの以外」は作品表面(底面含む)に露出させないこと。
- (7) (3)の規定のうち、「3D プリンターで造形したもの以外」に該当する金属部品の総重量は 1,000 g を超えないこと。
- (8) オブジェの設置作業は運営側では行わない。設置作業は、応募者、指導教員もしくは当該学校関係者が **11月1日(金) 午後1時～午後4時、11月2日(土) 午前8時半～午前9時半**に来場し、オブジェの設置を行うこと。ただし、やむを得ない事情により同時時間帯に来場できない場合は、プレデザコン部門担当事務局に 10月24日(木)までに連絡の上、相談すること。
- (9) オブジェ設置の際に、故意に他の展示物に接触するなどして破損等が生じた場合は、失格とする。
- (10) 展示前日に接着が必要な場合は、概ね 1 時間以内に初期硬化が発現し、部材同士を安全に固定でき、翌日以降の審査時点で展示に支障が生じない接着剤にすること。
- (11) 展示台が完全に水平を保つことに十分留意すること。また展示台に固定できないため、施工精度によってバランスが不安定となるものにはしないこと。モデルにヒンジなどの可動部分がなく、また電源・光源類および動作可能な状態にしたサーボモータ等を展示物の内外に仕込まないこと。軟質材料を用いる場合を除き、審査期間中において物理的に変形しないこと。

2. 応募方法と注意事項

2.1 A3 判ポスター1枚(横向き)の製作に関わる注意

- (1) 製作したオブジェのタイトル・コンセプト・説明図などを示した A3 判ポスターを、「共通事項」に記載の要件に従って作成する。
- (2) ポスターに掲載するオブジェ説明用の図面や写真、絵については、その種類は問わない。ただし、生成 AI を用いた画像でないこと。

2.2 作品の提出

- (1) オブジェは完成品を梱包の上、郵送すること。
- (2) 「3D プリンターで造形したオブジェ」および「A3 判ポスター」を、それぞれ別の梱包物として郵送する(同じ段ボールなどに入れない)。
- (3) その他条件等は「共通事項」に記載の通りとする。

プレデザコン送付状

デザコン 2024 in 阿南

部 門 名 : プレデザコン

創造・空間・AM デザインフィールド

郵送作品のフィールドに○を入れてください

学 校 名 : 高専

(キャンパス名 :)

デザコン2024in阿南 プレデザコン部門 応募一覧

投票の公平性を担保するため、学校名は非表示と致します。

空間デザインフィールド

創造デザインフィールド

AMデザインフィールド

作品番号	作品名	作品番号	作品名	作品番号	作品名
1	フォース橋	1	豊満	1	エアロファルコン
2	最も長い宿場町	2	咆哮	2	繋ぎ龍～時空を超えて～
3	Connecting Era	4	Flying From Fukui	3	移動手段の歴史
4	蔵の街 とちぎ	5	生命の輝き	4	Connect The Times
5	商店街の人生	6	めがねから様々な技術へ	5	時を繋ぐ
6	首里の道	7	境界	6	未来へ続けるのに。。。
7	平城京	8	なみ	8	SeeU FROMUK
8	タイムカプセル ～国立科学博物館～	9	Evolution of the times	9	繋時計
9	沈みゆく船	10	まるごと福井	10	moAI
10	TIME'S	11	All starts in Fukui	11	亀とトキ
11	コロッセオを繋ぐ	12	夢旅	12	時を越えて繋がる地球
12	南三陸311メモリアル・中橋	13	ECHIZEN	13	夢への道
14	茅野市民館～コミュニティの活性化へ～	14	福井といたら	14	History lapse
15	明るいを繋ぐ	15	不死鳥	15	Link the Flow of Time
16	Spaceship Earth	16	福羽二重		
17	呼吸する	17	蟹		
19	鹿児島中央駅一番街商店街				
20	時空都市				
21	人体という構造体				
22	Sagrada Familia				
23	いつの時代も、				
25	LAYER～永遠の建築シンフォニー～				
26	輝北天球館				

以上14作品 作品番号7番は欠番

以上16作品 作品番号3番は欠番

以上23作品 作品番号13・18・24番は欠番

作品番号	作品名	高専名 (キャンパス名)	投票者				合計点	フィールド別 順位	受賞
			審査員	来賓	企業	来場者			
空間004	蔵の街 とちぎ	小山高専	0	0	20	34	54	1	最優秀賞*1
空間011	コロッセオを繋ぐ	秋田高専	0	0	10	43	53	2	優秀賞*2
空間009	沈みゆく船	呉高専	5	0	0	43	48	3	特別賞*3
空間002	最も長い宿場町	近畿大学高専	0	5	5	36	46	4	
空間020	時空都市	仙台高専・名取キャンパス	0	0	5	37	42	5	
空間006	首里の道	近畿大学高専	0	0	5	31	36	6	
空間001	フォース橋	サレジオ高専	0	0	10	24	34	7	
空間023	いつの時代も、	阿南高専	0	0	10	21	31	8	
空間017	呼吸する	舞鶴高専	0	0	0	31	31	8	
空間022	Sagrada Família	仙台高専・名取キャンパス	0	0	5	18	23	10	
空間003	Connecting Era	サレジオ高専	5	10	0	7	22	11	
空間014	茅野市民館～コミュニティの活性化へ～	長野高専	0	5	5	12	22	11	
空間025	LAYER～永遠の建築シンフォニー～	松江高専	0	0	5	14	19	13	
空間008	タイムカプセル ～国立科学博物館～	秋田高専	5	0	5	3	13	14	
空間019	鹿児島中央駅一番街商店街	鹿児島高専	0	0	0	13	13	14	
空間016	Spaceship Earth	小山高専	0	0	5	6	11	16	
空間005	商店街の人生	近畿大学高専	0	0	5	6	11	16	
空間012	南三陸311メモリアル・中橋	仙台高専・名取キャンパス	0	0	5	4	9	18	
空間007	平城京	近畿大学高専	0	0	0	6	6	19	
空間021	人体という構造体	仙台高専・名取キャンパス	0	0	0	5	5	20	
空間010	TIME'S	秋田高専	0	0	0	2	2	21	
空間015	明るいを繋ぐ	仙台高専・名取キャンパス	0	0	0	2	2	21	
空間026	輝北天球館	鹿児島高専	0	0	0	2	2	21	

表註 *1 最優秀賞：最優秀賞（科学技術振興機構（JST）理事長賞）。*2 優秀賞：優秀賞（全国高等専門学校連合会会長賞）。*3 特別賞：特別賞（全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会委員長賞）。*作品番号「空間013」「空間018」「空間024」は欠番。

作品番号	作品名	高専名 (キャンパス名)	投票者				合計点	フィールド別 順位	受賞
			審査員	来賓	企業	来場者			
創造012	夢旅	阿南高専	10	0	35	86	131	1	最優秀賞*1
創造001	豊満	サレジオ高専	0	0	35	62	97	2	優秀賞*2
創造011	All starts in Fukui	仙台高専・名取キャンパス	0	10	10	64	84	3	特別賞*3
創造015	不死鳥	福井高専	0	0	0	38	38	4	
創造009	Evolution of the times	福島高専	0	0	5	30	35	5	
創造016	福羽二重	福井高専	0	5	10	16	31	6	
創造017	蟹	松江高専	0	0	0	25	25	7	
創造002	咆哮	秋田高専	5	0	0	16	21	8	
創造007	境界	仙台高専・名取キャンパス	0	0	0	16	16	9	
創造010	まるごと福井	福井高専	0	0	0	10	10	10	
創造004	Flying From Fukui	呉高専	0	0	0	10	10	10	
創造008	なみ	長岡高専	0	0	5	4	9	12	
創造006	めがねから様々な技術へ	仙台高専・名取キャンパス	0	0	0	8	8	13	
創造005	生命の輝き	呉高専	0	0	0	7	7	14	
創造014	福井といたら	福井高専	0	0	0	7	7	14	
創造013	ECHIZEN	福井高専	0	5	0	1	6	16	

表註 *1 最優秀賞：最優秀賞（科学技術振興機構（JST）理事長賞）。*2 優秀賞：優秀賞（全国高等専門学校連合会会長賞）。*3 特別賞：特別賞（全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会委員長賞）。*作品番号「創造003」は欠番。

作品番号	作品名	高専名 (キャンパス名)	投票者				合計点	フィールド別 順位	受賞
			審査員	来賓	企業	来場者			
AM008	SeeU FROMUK	鶴岡高専	0	0	25	144	169	1	最優秀賞*1
AM010	moAI	神戸市立高専	5	0	10	53	68	2	優秀賞*2
AM003	移動手段の歴史	鶴岡高専	0	5	20	41	66	3	特別賞*3
AM002	繋ぎ龍～時空を超えて～	鶴岡高専	5	0	15	26	46	4	
AM013	夢への道	鈴鹿高専	0	10	10	18	38	5	
AM009	繋時計	鶴岡高専	0	0	10	27	37	6	
AM015	Link the Flow of Time	舞鶴高専	0	0	0	21	21	7	
AM005	時を繋ぐ	鈴鹿高専	0	5	5	10	20	8	
AM006	未来へ続けるのに。。。	阿南高専	5	0	0	14	19	9	
AM001	エアロファルコン	舞鶴高専	0	0	5	9	14	10	
AM014	History lapse	鶴岡高専	0	0	0	14	14	10	
AM011	亀とトキ	鳥羽商船高専	0	0	0	14	14	10	
AM004	Connect The Times	舞鶴高専	0	0	0	7	7	13	
AM012	時を越えて繋がる地球	阿南高専	0	0	0	2	2	14	

表註 *1 最優秀賞：最優秀賞（科学技術振興機構（JST）理事長賞）。*2 優秀賞：優秀賞（全国高等専門学校連合会会長賞）。*3 特別賞：特別賞（全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会委員長賞）。*作品番号「AM007」は欠番。